

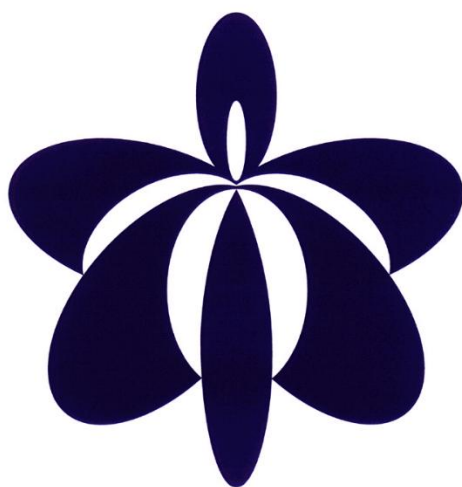
第2次由利本荘市スポーツ振興計画

(令和8年度～令和11年度)

～スポーツを通して

「健康で笑顔あふれる地域づくり」

を目指す～



令和8年3月
由利本荘市

目 次

第1章 第2次由利本荘市スポーツ振興計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の期間	1

第2章 由利本荘市におけるスポーツの現状と課題

1. 現状	2
2. 課題	6

第3章 計画の基本的な目標と方針

1. 基本目標	6
2. 基本方針	6

第4章 計画の基本的な施策

1. スポーツによる地域づくりの推進	7
(1) スポーツ立市	
(2) 競技・生涯スポーツを通じたにぎわいの創出	
(3) スポーツ・ヘルスコミッションの推進	
(4) スポーツボランティアの育成	
(5) スポーツ活動に関する情報発信	
2. 生涯スポーツや健康づくりの推進	8
(1) S S Fアクティブチャレンジの推進	
(2) 地域の特性を活かした活動の推進	
(3) 健康づくりの推進	
(4) 学校体育の充実と子どもの体力向上	
(5) 総合型地域スポーツクラブの支援と育成	
3. 競技スポーツの振興	9
(1) スポーツ協会への活動支援	
(2) スポーツ少年団活動への支援	
(3) 部活動の地域展開の推進	
(4) 障がい者スポーツへの支援	
(5) 競技団体や関係機関との連携	
4. 指導者の育成	10
(1) 各分野・各種目の指導者育成	
(2) スポーツ推進委員会との連携	
5. スポーツ施設の活用促進と環境整備	10
(1) 活動拠点施設の環境整備と統廃合	
(2) 由利本荘アリーナの活用	
6. トップスポーツへの支援と連携によるスポーツ振興	10
(1) トップスポーツ選手等の活動支援	
(2) プロスポーツチーム等との連携	

施策の数値目標	11
---------	----

資料編	12
-----	----

第1章 第2次由利本荘市スポーツ振興計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

国は、平成23年6月に国や地方公共団体のスポーツに関する責務やスポーツ団体の努力について規定したスポーツ基本法を制定し、令和4年にはスポーツ政策の指針として第3期スポーツ基本計画を策定しました。

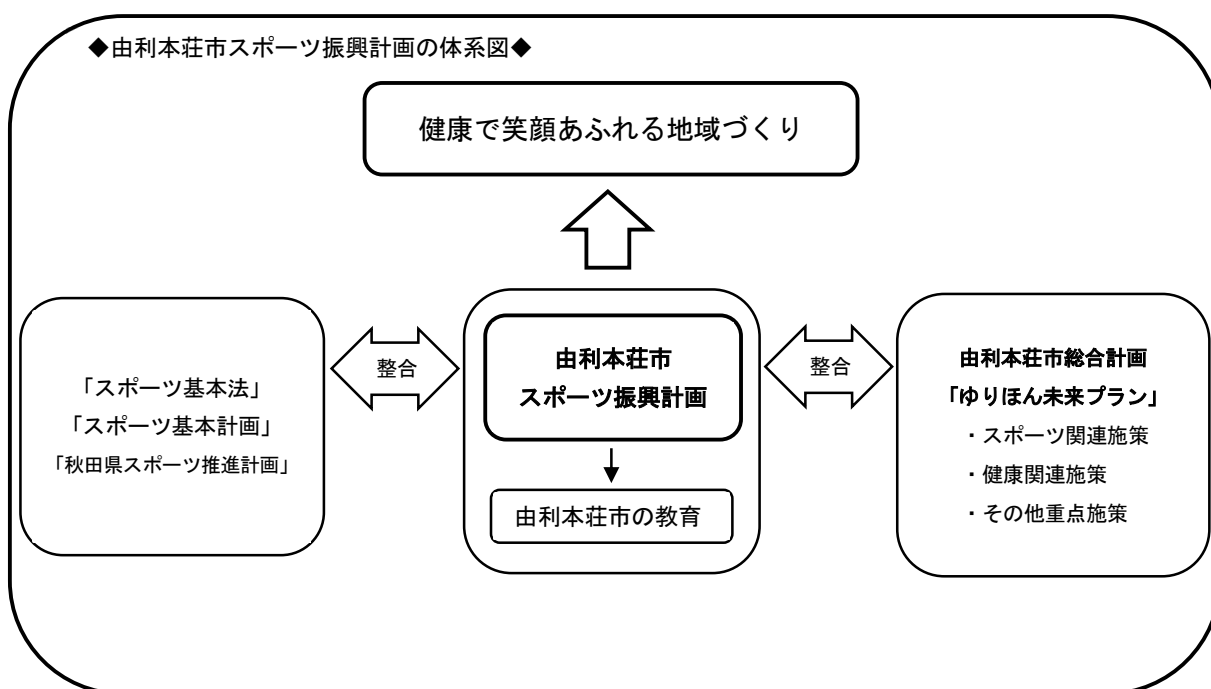
本市においては、平成28年9月に「スポーツ振興まちづくり条例」を制定し、スポーツを通じた躍動と活力あるまちづくりの基本的な理念を定めるとともに、10月には「スポーツ立市由利本荘」を宣言しました。その中でスポーツ振興に関する基本的・総合的な計画として、「由利本荘市スポーツ振興計画」を策定し、スポーツを通じた健康で笑顔あふれる地域づくりに取り組んできました。

令和7年度でこの計画期間が終了することから、この計画を引き継ぎ、今後4年間のスポーツ推進に関する基本計画として「第2次由利本荘市スポーツ振興計画」を策定しました。

2. 計画の位置づけ

本計画は、スポーツの施策に関する基本事項を定めたスポーツ基本法第10条に規定されている「地方スポーツ推進計画」として策定するもので、国のスポーツ基本計画や秋田県スポーツ推進計画の趣旨を踏まえつつ、本市の実情に合わせたスポーツの推進に関する計画とします。

また、由利本荘市総合計画「ゆりほん未来プラン」を上位計画として、本市が目指すまちづくりの実現に向け、本市のスポーツに関する施策を具体的に示す個別計画です。



3. 計画の期間

本計画の期間は、由利本荘市総合計画「ゆりほん未来プラン」との整合性を図るとともに終期を統一するため、令和8（2026）年度から令和11（2029）年度までの4年間とします。

第2章 由利本荘市におけるスポーツの現状と課題

1. 現状

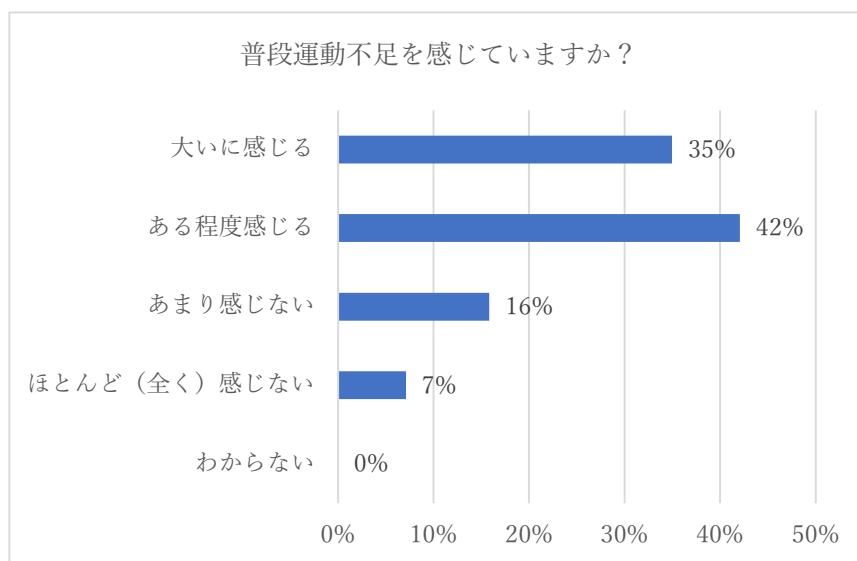
本市におけるスポーツは、ボートや柔道をはじめ、バレーボール、サッカー、弓道など多様な競技において、市内高等学校や本市出身者が全国大会等で優れた成績を収めており、市民や地域に大きな夢と希望を与えています。また、これまでにオリンピック選手や世界で活躍する選手も輩出されています。

市民スポーツにおいても、地域の自然環境や特性を活かした市民ボート大会やソフトボール大会、冬季のスキー大会、地域住民が主体となる生涯スポーツ活動など、年間を通じた多様なスポーツイベントが実施されています。

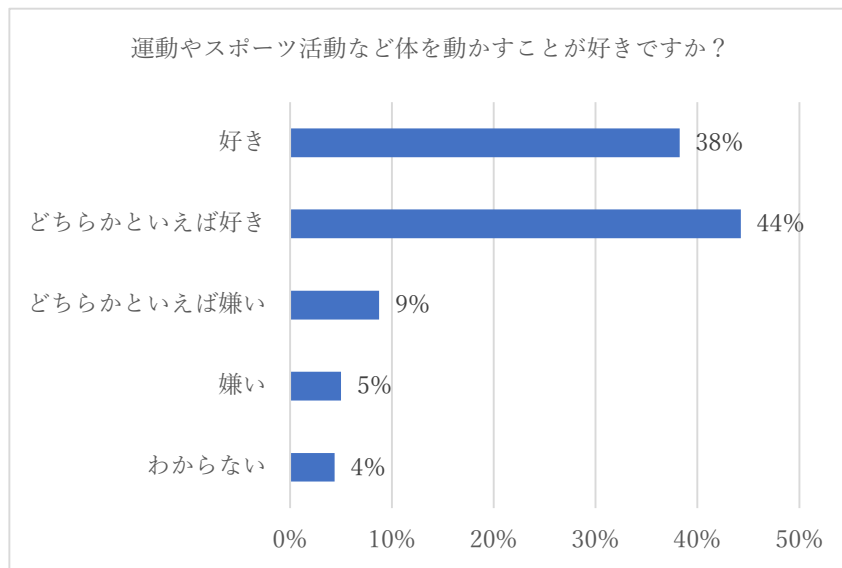
一方で、スポーツ少年団員の減少、指導者の不足や高齢化、競技人口の減少といった課題も顕在化しており、これらは人口減少や少子高齢化の進行に伴う経済規模の縮小、労働力人口の減少、地域の担い手不足などに起因し、地域の活力や機能の低下が懸念されています。

令和7年度に実施した「運動やスポーツに関する市民アンケート」で、過去1年間に行った運動やスポーツの頻度、目的、種目などについて調査を行いました。

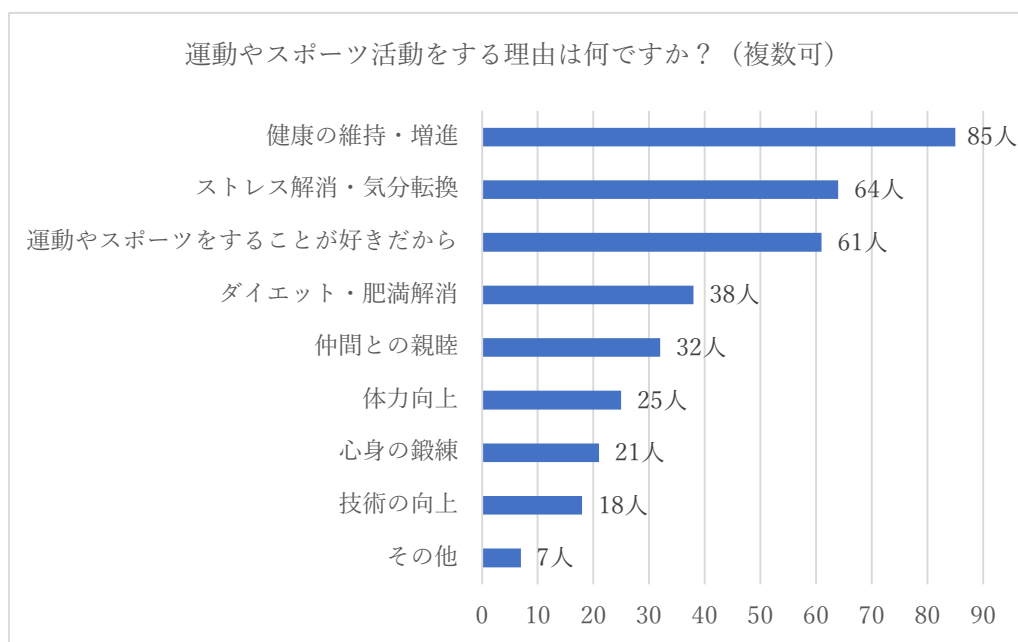
(1) 運動不足についての質問では、「大いに感じる」35%、「ある程度感じる」42%と、ふだん運動不足を感じている人の割合は合わせて77%でした。



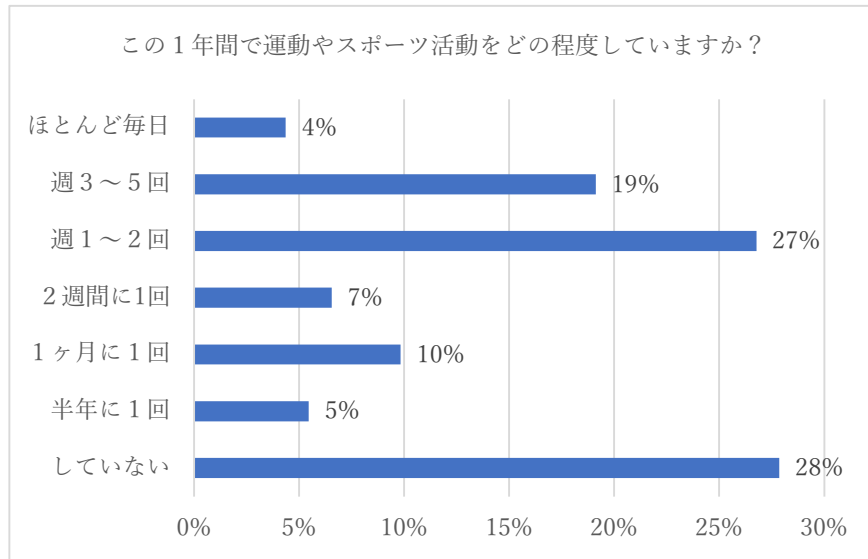
(2) スポーツが好きかどうかの質問では、「好き」が38%、「どちらかといえば好き」44%と、スポーツが好きな人の割合は合わせて82%でした。



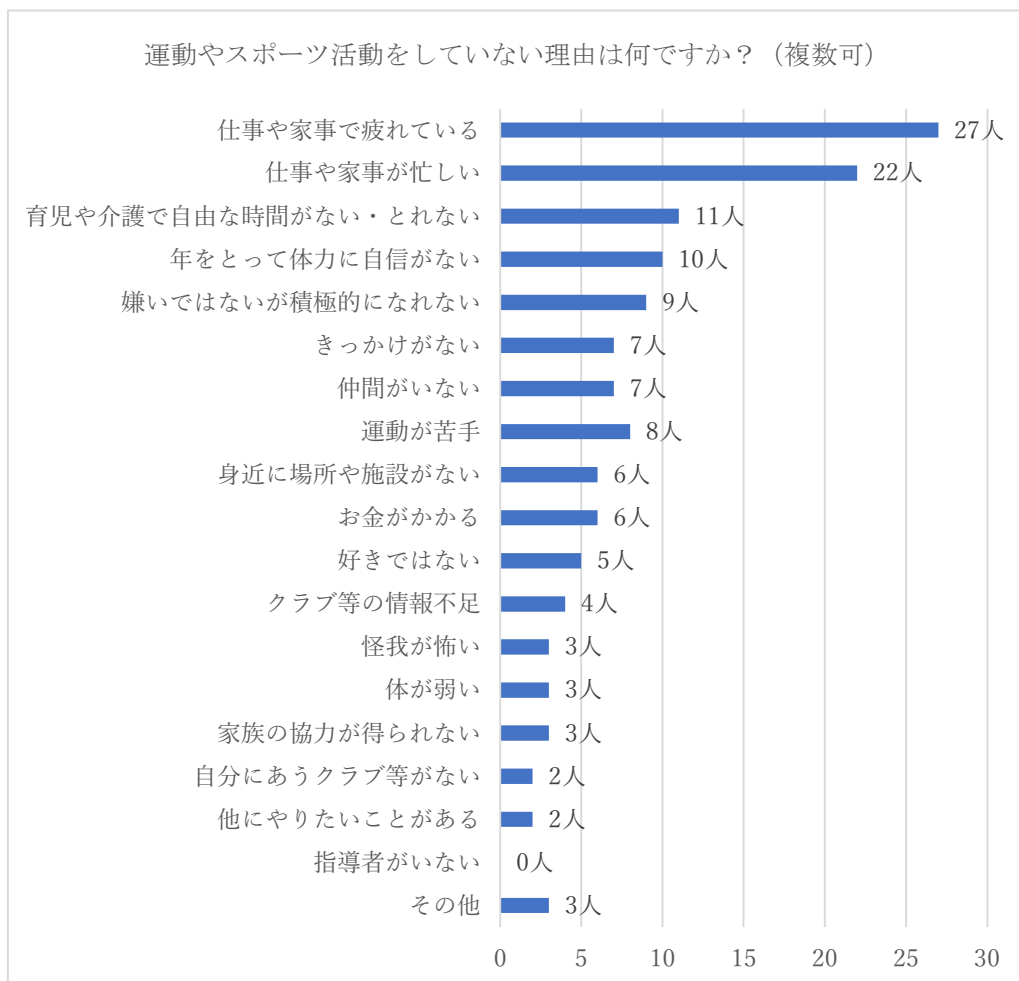
(3) スポーツをする理由については、「健康の維持・増進」と回答した人が最も多く85人、次に「ストレス解消・気分転換」が64人、他にもスポーツが好き、ダイエット、仲間との親睦のためと答えています。



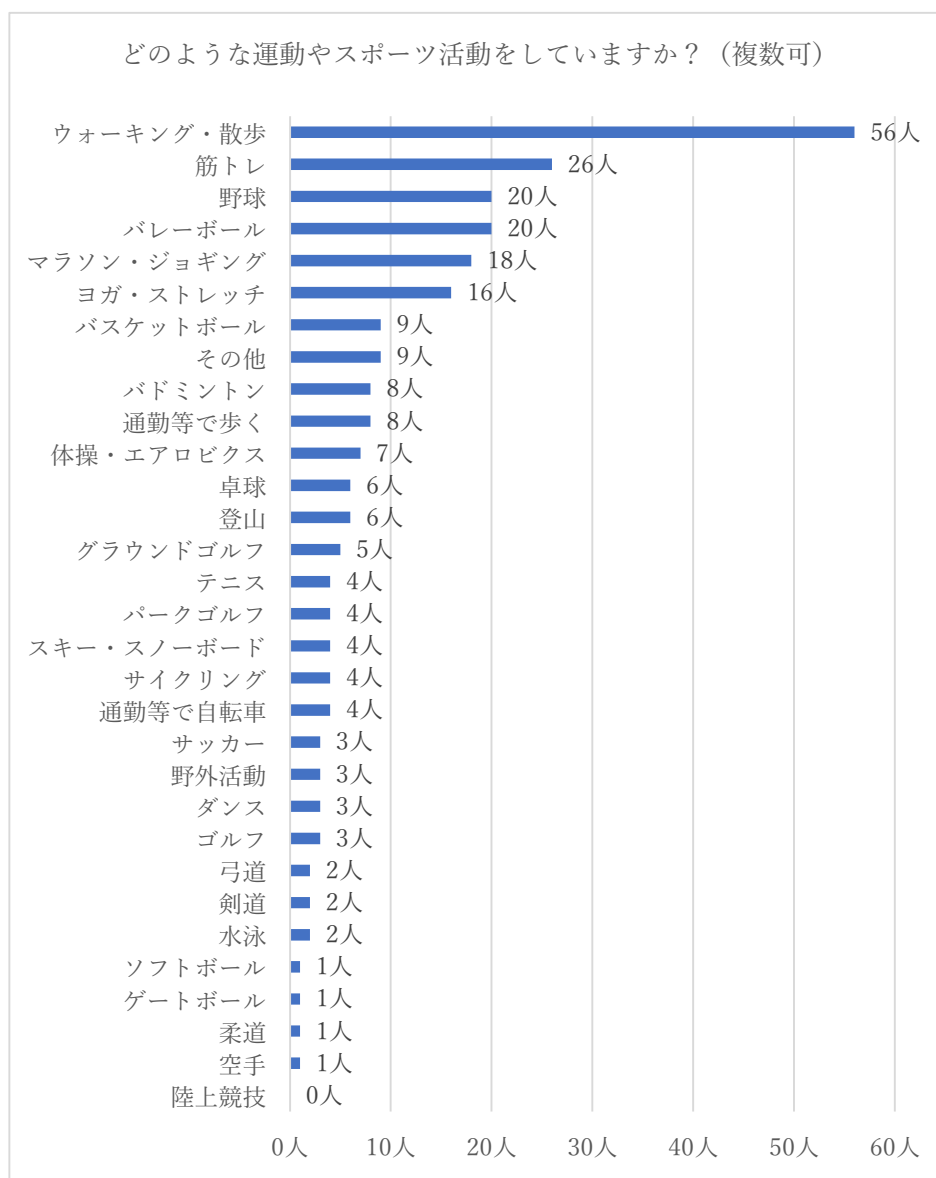
(4) スポーツの頻度についての項目では、過去1年間に「運動をしていない」と答えた人の割合は28%でした。



(5) スポーツをしていない人にその理由を質問したところ、「仕事や家事で疲れている」が27人、「仕事や家事で忙しい」が22人と、仕事と家事が理由になっている人は合わせて49人でした。



(6) スポーツをしている人に、どのようなスポーツをしているか質問したところ、「ウォーキング・散歩」「通勤等で歩く」といった『歩くこと』に関連した回答が最も多くなりました。



アンケートからは、スポーツをすることは好きだが、仕事や家事が忙しくてスポーツをする頻度は少なく、運動不足を感じている人が多いことがわかりました。

一方、スポーツをしている人は、身近なところで健康維持やストレス解消等を目的として、ウォーキングや散歩などを行っている人が多いことがわかりました。

スポーツの種目については、野球やバレーボール、マラソン・ジョギングなど様々な種目に取り組んでいることがわかりました。

2. 課題

本市におけるスポーツ活動は、全国大会での活躍や多様な市民イベントの開催など、地域に誇りと活力をもたらしている一方で、いくつかの重要な課題が顕在化しています。

まず、スポーツ少年団員の減少や指導者の不足・高齢化が進行しており、将来的な競技スポーツの継続性や地域スポーツの担い手確保が懸念されています。これらの背景には、人口減少や少子高齢化、地域の担い手不足といった構造的な課題が存在しており、地域全体の活力やスポーツ活動の持続可能性に影響を及ぼしています。

また、市民アンケートの結果からは、多くの市民がスポーツに対して好意的な意識を持ちながらも、実際の運動頻度は低く、運動不足を感じている人が多いことが明らかになりました。特に「仕事や家事で疲れている」「忙しい」といった理由から、運動の機会を確保できていない人が多く、日常生活における運動・スポーツの定着が課題となっています。

さらに、実施されているスポーツ活動の多くがウォーキングや散歩などの軽運動に偏っており、多様なニーズに応じた種目や参加形態の整備が求められています。特に若年層や働き世代が参加しやすい環境づくりや、女性や高齢者など多様な層に対応したプログラムの充実が必要です。

これらの課題に対応するためには、地域資源を活かしたスポーツ環境の整備、指導者の育成・支援体制の強化、ライフスタイルに応じた柔軟な参加機会の提供など、総合的かつ持続可能なスポーツ振興施策の展開が求められます。

第3章 計画の基本的な目標と方針

1. 基本目標

本市の現状や課題を踏まえ、「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興に取り組み、「健康で笑顔あふれる持続可能な地域づくり」を目指します。

市民一人ひとりが、いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しめる環境を整備し、情報発信や交流の機会を充実させることで、生涯スポーツ社会の実現とスポーツによる地域活性化を推進します。

学校や地域においては、子ども、高齢者、障がいのある方など多様な世代や属性に応じたスポーツ機会を拡充し、誰もが安心して参加できる環境を整えます。

また、ジュニア期からの競技力向上を支援し、指導者や審判員、ボランティアの育成を関係団体と連携して進めることで、人材の充実を図ります。

さらに、SDGs やウェルビーイング（注1）の視点を取り入れ、スポーツを通じて健康増進、地域交流、経済・観光振興を促進し、持続可能な「スポーツ立市」の実現を目指します。

加えて、ICT やスポーツテック（注2）を活用し、参加機会の拡大や情報提供の効率化を進め、観戦や応援の新しい形を創出することで、デジタル時代にふさわしいスポーツ環境を整備します。

2. 基本方針

スポーツを通じて「健康で笑顔あふれる持続可能な地域づくり」を推進し、全ての世代がスポーツに親しみ楽しめる環境を整備します。

市民と行政、団体が一体となって振興を進めることで、市民自らが生活の一部として積極的にスポーツに関わり、市民が主役の「スポーツ立市」を目指します。

令和7年度から参加している「SSFアクティブチャレンジ」（注3）を契機として、市民のスポーツへの関心を一層高め、楽しく一斉に運動を行うことで地域住民の一体感を醸成し、心身ともに健康な生活が送られるよう継続的に取り組みます。

「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」を主要施策として、市民一人ひとりが主体的

にスポーツに親しみ、健康づくりや体力づくり、生きがいに取り組むことで、地域の活性化や仲間づくりにつながる豊かなスポーツライフの実現を目指します。

さらに、子ども、高齢者、障がいのある方など多様な市民が安心して参加できるインクルーシブ(注4)な環境を整備し、バリアフリー化や地域クラブの支援を通じて誰もがスポーツを楽しめる社会を構築します。

ICT やスポーツテックを活用して参加機会を広げ、情報発信の効率化やオンライン指導、データ活用による健康管理や競技力向上を支援するとともに、スポーツを通じた地域交流や観光・経済振興を進め、SDGs やウェルビーイングの視点を取り入れながら持続可能な「スポーツ立市」を推進します。

注1 ウェルビーイング：すべてが満たされた状態かつ継続性のある幸福のこと。

注2 スポーツテック：スポーツとテック（テクノロジー）の2語の組み合わせから成る造語のこと。

注3 S S Fアクティブチャレンジ：笹川スポーツ財団が推進する住民総参加型スポーツプログラムのこと。

注4 インクルーシブ：障がいの有無、国籍、年齢などに関係なく認め合い共生すること。

第4章 計画の基本的な施策

1. スポーツによる地域づくりの推進

(1) スポーツ立市

本市は、スポーツを通して「健康で笑顔あふれる地域づくり」を目指し、スポーツ立市を宣言しています。市民すべての世代がスポーツに親しみ、楽しめる環境の整備に努めながら、市民と一体となってスポーツ振興を積極的に推進し、生涯スポーツや競技スポーツはもとより、健康づくりや体力づくりに市民自らが活発に取り組むことで、スポーツを生活の一部として根付かせ、豊かな地域社会の形成を目指します。

また、市民がスポーツを習慣化することの難しさがあることを課題として認識し、市民が参加しやすい環境の整備や多様なプログラムの提供を通じて、誰もが無理なくスポーツを続けられる仕組みづくりを進めます。

(2) 競技・生涯スポーツを通じたにぎわいの創出

地域の活力向上と住民の交流促進を目的に、競技スポーツおよび生涯スポーツを通じたにぎわいの創出を図るため、地域の特色を活かしたスポーツ大会や体験イベントを開催し、世代や競技レベルを問わず多くの人が参加・観戦できる機会の提供に努めます。

また、地元スポーツ団体や企業、学校と連携し、地域ぐるみでの取り組みを推進することで、スポーツを核としたコミュニティの形成を目指すとともに、観光や地場産業と連動したイベント展開により、地域経済の活性化を図り、スポーツを通じた持続可能なにぎわいの創出を目指します。

(3) スポーツ・ヘルスコミッションの推進

由利本荘総合防災公園由利本荘アリーナをはじめとする本市のスポーツ施設や資源を活用し、全国大会やスポーツ合宿の誘致を通じて地域活性化と交流人口の拡大を図ります。さらに、施設整備や宿泊・交通との連携、人材育成などの受け入れ体制を強化するとともに、観光資源や食文化と結びつけた情報発信を推進し、本市の魅力を広くPRすることで、スポーツと観光を融合した地域ブランドの確立を目指します。

(4) スポーツボランティアの育成

地域のスポーツ活動を支える人材の確保と育成を目的に、スポーツボランティアの育成を推進するため、スポーツイベントの運営や安全管理に必要な知識を学べる講座を開催し、初心者でも安心して参加

できる環境に努めます。

また、若年層や高齢者の参加も積極的に呼びかけ、多世代が関わる地域づくりを目指すことで、スポーツを通じた地域の活性化とボランティア文化の定着を図ります。

(5) スポーツ活動に関する情報発信

市内で活動する団体やサークルの情報や本市で開催されるスポーツ大会・イベントなど、地域の身近なスポーツに関する情報をHPやSNS、広報紙など世代ごとに適切な媒体や方法を工夫して発信し、誰もが必要な情報を確実に受け取れる仕組みの整備を図ります。

2. 生涯スポーツや健康づくりの推進

(1) SSFアクティブチャレンジの推進

SSFアクティブチャレンジは、市民の健康及び体力の増進を図るとともに、運動・スポーツプログラムを活用した健康づくりの推進、地域コミュニティの活性化及び地域課題の解決に取り組むことを目的とした取り組みで、本市においても、本事業の趣旨を踏まえ、関係機関や地域団体等と連携しながら、誰もが継続的に参加できる運動機会の創出や、地域の実情に応じたプログラムの展開を通じて、事業の普及と定着を図り、市民の健康意識の向上と地域のつながりの強化に努めてまいります。

(2) 地域の特性を活かした活動の推進

本市は、山・川・海をあわせ持つ豊かな自然環境に恵まれており、日本海におけるセーリング、子吉川でのボートやカヌー、鳥海山での登山やトレッキング、さらには冬季のスキーなど、四季折々の地域特性を活かした自然と調和するスポーツ・レクリエーション活動を展開できる環境を有しており、年間を通じて多様なスポーツ活動に親しむことが可能です。

こうした地域資源を最大限に活用し、生涯スポーツの普及及びレクリエーション活動の一層の促進を図るため、スポーツ推進委員やスポーツ関係団体等と連携のもと、スポーツ教室や各種イベント等を開催し、地域の特性を活かした活動の推進に取り組んでまいります。

(3) 健康づくりの推進

健康維持やストレス解消等を目的としたウォーキングへの関心が高まる中、由利本荘アリーナを拠点とした「健康の駅」を設置し、「インターバル速歩」の普及を図るとともに市民の体力向上及び介護予防、健康づくり活動の支援に取り組みます。

また、高齢者が主体的かつ継続的に取り組むことのできる生涯スポーツの機会及び環境の整備を進め、健康で生きがいのある社会生活の実現を目指すとともに、障がいのある方々がスポーツに親しみ、心身ともに健やかで充実した生活を送ることができるよう、その活動を支援します。

(4) 学校体育の充実と子どもの体力向上

小・中学校における学校体育活動を通じて、子どもたちが基本的な体力や運動能力を身につけ、スポーツの楽しさを実感できるよう取り組むことで、心身の健康を育み、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を築くとともに、体力テストにおいて県平均を上回ることを目指し、児童生徒の体力向上に努めます。

また、快適で安全な運動環境の確保に向けて、学校体育館をはじめとした施設環境の改善にも取り組み、子どもたちが意欲的に体を動かせる環境づくりを推進します。

(5) 総合型地域スポーツクラブの支援と育成

年齢や関心に応じて、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境の整備を目指し、総合型地域スポーツクラブの設立および運営に対する支援を行うとともに、運営者や指導者を対象とした研修会の実施など人材育成を進め、安定した活動基盤の構築を図ります。

また、地域住民への広報を強化し、学校や地域との連携を深めて活動内容の充実を図ることで、スポ

ーツを通じてクラブが地域コミュニティの中心的な存在として機能する体制の整備を目指します。

3. 競技スポーツの振興

(1) スポーツ協会への活動支援

地域におけるスポーツ振興の中核的な役割を担うスポーツ協会への支援を継続し、加盟する各競技団体の組織体制の強化を図るとともに、生涯スポーツや競技スポーツの普及促進、競技力の向上、指導者の育成に向けた各種事業の実施を支援し、地域全体のスポーツ環境の充実を目指します。

また、指導力や競技力の向上に対応するため、研修機会の充実や人材育成の強化を図り、質の高い指導体制の構築を推進するとともに、スポーツ協会が自主的かつ持続的に運営できる体制づくりを支援し、地域に根ざしたスポーツ活動の発展を目指します。

(2) スポーツ少年団活動への支援

競技スポーツを含む生涯スポーツなどの活動を通じて、子どもたちが喜びや楽しさを体験し、仲間との連帯や友情を育むとともに、協調性や創造性を養い、心身ともに健やかに成長できるよう支援します。

また、近年は、指導者の不足や指導力の課題、子どもの参加者減少や継続の難しさといった課題が顕在化しており、これらに対応するため、リーダー養成研修等の受講を推奨し、地域の若年層を含む新たな指導者の育成・確保に努めます。

さらに、スポーツ少年団では中学生や高校生も活動できることから、世代を超えた交流を促進し、活動の魅力を高めるとともに、子どもたちが将来にわたってスポーツ活動を継続できるよう環境整備を進めるとともに、全国大会等への出場にかかる費用の補助を継続し、経済的負担の軽減と活動の支援を図ります。

(3) 部活動の地域展開の推進

円滑な部活動の地域展開を進めるためには、部活動の受け皿となる地域クラブ等の整備が重要であることから、スポーツ協会や関係団体と連携し、地域における多様な活動機会の確保を図るとともに、指導者の確保・育成やマネジメント体制の構築に取り組みます。

また、教育委員会や学校との連携を強化し、活動場所の確保や利用調整を図ることで、生徒がこれまでと同様に安心して活動できる環境を整備し、地域全体で子どもたちの成長を支える体制づくりを推進します。

(4) 障がい者スポーツへの支援

障がいの有無にかかわらず、すべての市民がスポーツを楽しめる共生社会の実現を目指し、障がい者スポーツの支援を推進するため、専門指導者や支援者の人材育成と確保に取り組むとともに、広報手段の多様化や情報発信の工夫を進め、参加しやすい環境づくりを図ります。

また、体験会や教室の開催、施設のバリアフリー化を通じて、誰もが安心してスポーツに参加できる環境を整備し、福祉・教育・医療機関や関係団体と連携しながら、地域全体で障がい者スポーツを支える仕組みづくりを進めていきます。

(5) 競技団体や関係機関との連携

多くの競技スポーツでは、小学生頃から競技を始め、中学校や高校での部活動などを経て、競技力を習得・向上させていく選手が多く見られることから、競技の特性を踏まえたうえで、地域・学校・競技団体などが連携し、競技別の指導者講習会の開催などを通じて、指導者が一貫した指導理念のもとで選手を育成できる体制の構築を支援し、競技力の向上を目指します。あわせて、関係機関同士の連携強化や情報共有の仕組みづくりを進め、より効果的な育成環境の整備を図ります。

また、各種全国大会等への出場費補助についても、引き続き継続し、選手の活動を支援していきます。

4. 指導者の育成

(1) 各分野・各種目の指導者育成

競技スポーツに限らず、スポーツの普及促進を持続的に進めるためには、指導者の確保と育成が不可欠であることから、スポーツ協会やスポーツ推進委員会、スポーツ少年団などの関係団体と連携し、各分野・各種目における指導者の養成を積極的に推進することで、地域に根ざした人材を確保し、幅広い世代が安心してスポーツに取り組める環境を整えます。

さらに、一貫した指導理念の下で選手を指導・育成できる体制の構築を支援し、指導者が共通の価値観と方針を持って活動できるよう整備することで、スポーツの普及と競技力の向上を両立させ、地域全体のスポーツ文化の発展に寄与することを目指します。

(2) スポーツ推進委員会との連携

地域に根ざしたスポーツ活動の普及を担っているスポーツ推進委員会と緊密な連携を図り、地域住民のニーズに応じた指導を行うとともに、地域スポーツ活動のコーディネーターとして活躍できる人材の育成を進めるため、各種研修会の開催や他団体との指導交流を通じて委員の資質向上に努め、さらに上部団体が実施する研修会等へ積極的に参加することで、スポーツ振興に関わる最新の情報を把握し、推進役としてのスキルアップを図ります。

これらの取り組みにより、スポーツ推進委員会が地域におけるスポーツ活動の中心的役割を果たし、市民のスポーツ参加を促進するとともに、持続可能なスポーツ振興体制の構築に寄与することを目指します。

5. スポーツ施設の活用促進と環境整備

(1) 活動拠点施設的环境整備と統廃合

各地域におけるスポーツやレクリエーション活動の拠点となる体育施設については、市民の多様なニーズに応じながら環境整備を進め、利便性の向上を図るとともに、誰もが気軽に利用できる体制を整えることで、地域住民が日常的にスポーツやレクリエーションに親しめる環境を整備します。

また、施設の利用状況を精査し、需要に応じた施設配置を行うことで、施設の統廃合を含めた効果的かつ効率的な管理運営に努めます。

(2) 由利本荘アリーナの活用

市民が体力づくりや健康づくりなど、誰もが、いつでも目的に応じて気軽に利用できる施設として、由利本荘アリーナを中核的拠点施設に位置付け、市民が季節を問わず活用できる地域コミュニティの場として賑わいの創出に努め、世代を超えて誰もがスポーツに親しみ、交流を深める環境を整えていきます。

また、プロスポーツのハイレベルな試合や大規模なスポーツイベントを開催することで、「みる」スポーツの醍醐味と感動を広く市民に伝えることができる、魅力ある施設としての活用を推進し、地域のスポーツ文化の発展とともに、観光や経済の活性化にも寄与する拠点として、由利本荘アリーナの可能性を最大限に発揮できるよう努めます。

6. トップスポーツへの支援と連携によるスポーツ振興

(1) トップスポーツ選手等の活動支援

本市にゆかりのあるトップスポーツ選手の活動を広く情報発信するとともに、応援体制を整備し、その活動を支援することで、市民が郷土への誇りを持ち、共に応援することによって一体感の醸成を図ります。

さらに、本市のスポーツ振興の応援団として「スポーツ振興大使」を任命し、積極的な情報発信を行うことで、スポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化や賑わいの創出、そしてスポーツを通じた

地域ブランド力の向上につなげます。

(2) プロスポーツチーム等との連携

秋田ノーザンハピネッツ、ブラウブリッツ秋田、アランマーレ秋田、TDK硬式野球部などの地元チームを支援するとともに、プロスポーツチーム等と連携してスポーツ教室を開催し、子どもたちが夢を持ってスポーツに親しめるよう、プロ選手とのふれあいの場を積極的に提供できるよう努めます。

施策の数値目標

成果指標	現状値 (R6 年度末)	目標値 (R11 年度末)
市主催スポーツに係るイベント参加者数	3,400 人	3,400 人
市主催スポーツに係るイベント参加者 アンケートによる満足度	—	75.0%
スポーツに係る合宿を行った回数	30 回	30 回



資 料 編

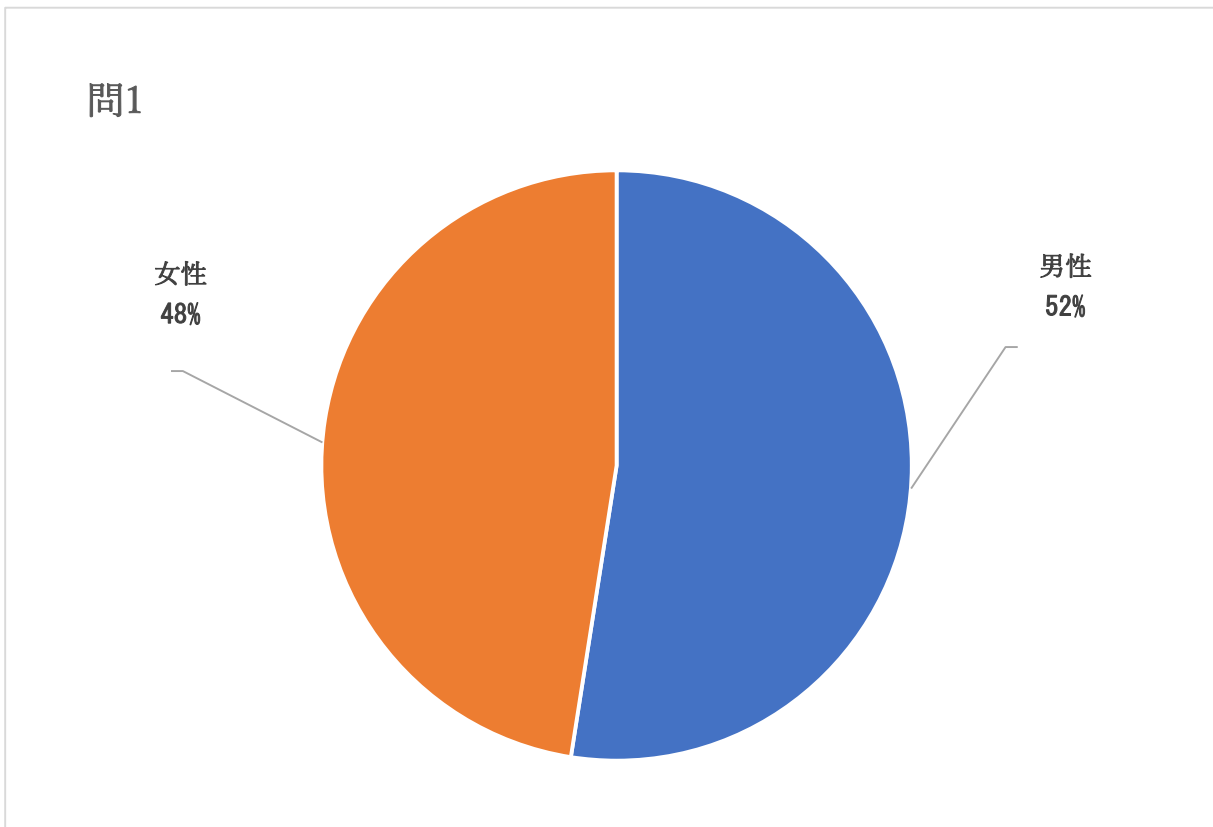
1. 第2次由利本荘市スポーツ振興計画を策定するための市民アンケート結果
2. 由利本荘市社会体育施設及び関連施設
3. 第2次由利本荘市スポーツ振興計画の策定について（報告）
4. 第2次由利本荘市スポーツ振興計画策定委員会名簿
5. 第2次由利本荘市スポーツ振興計画策定の経過

1. 第2次由利本荘市スポーツ振興計画を 策定するための市民アンケート結果

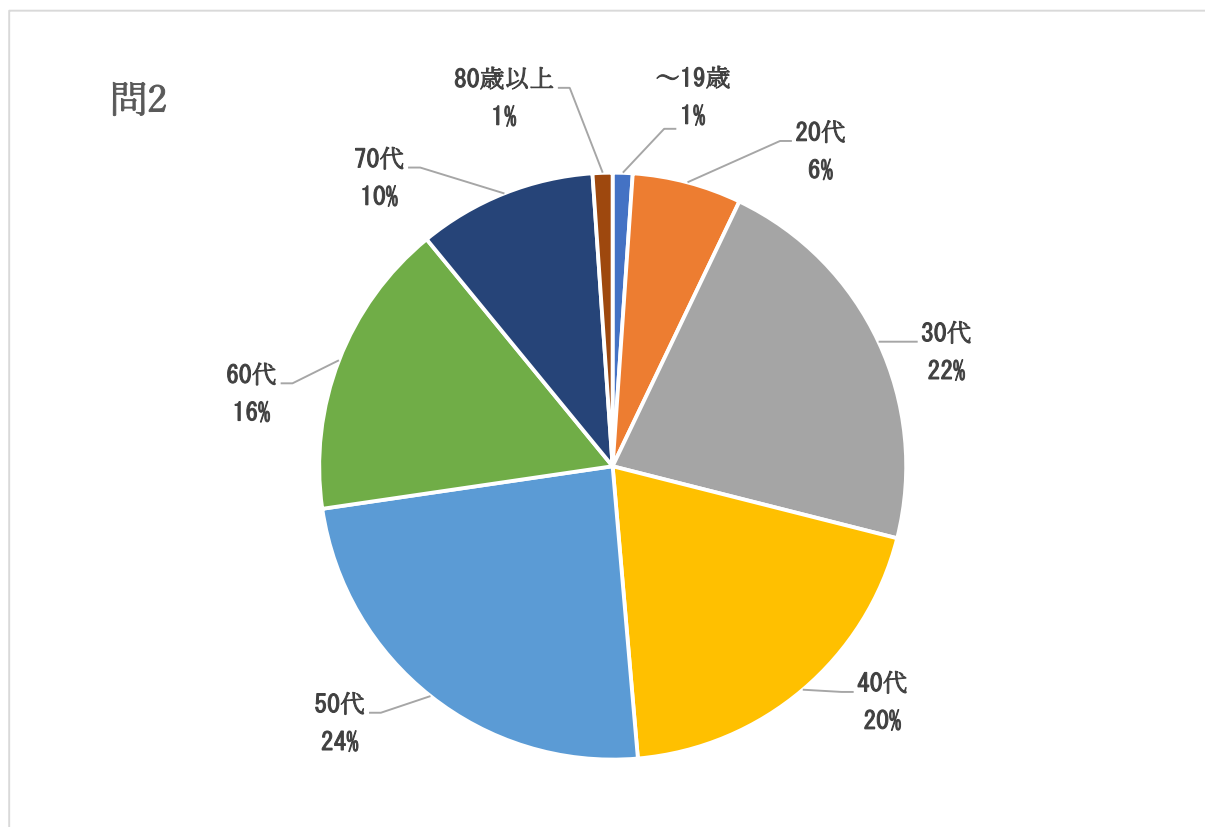
- =====
- 1. 実施期間 9月22日(月)～10月20日(月)
 - 2. 実施方法 インターネット及び市内施設(ナイスアリーナ、カダーレ、鳥海山木のおもちゃ館、コミュニティ体育館、アクアパル)での記入
 - 3. 回答者数 インターネット回答：143人 紙回答：40人 合計：183人
 - 4. 地域別対象者数

地域	本荘	矢島	岩城	由利	大内	東由利	西目	鳥海	合計
人数	127	6	8	16	8	5	7	6	183

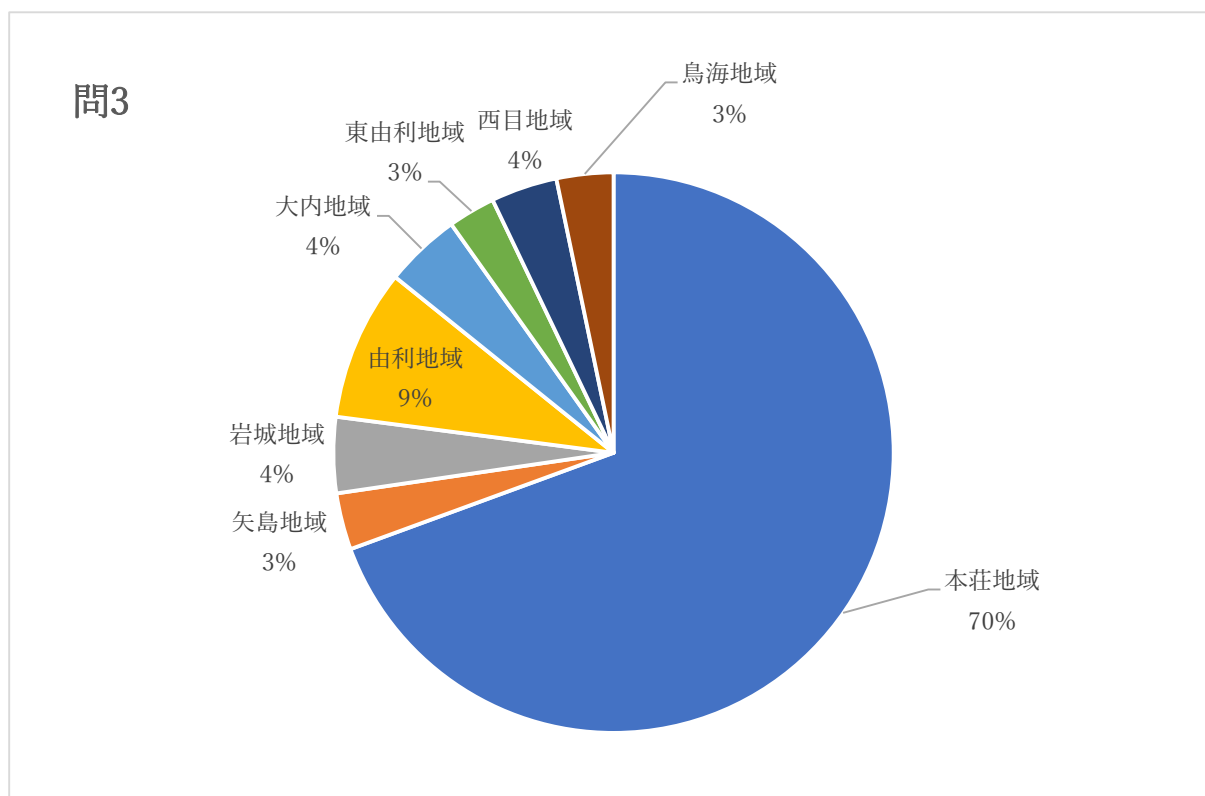
問1. 性別は？



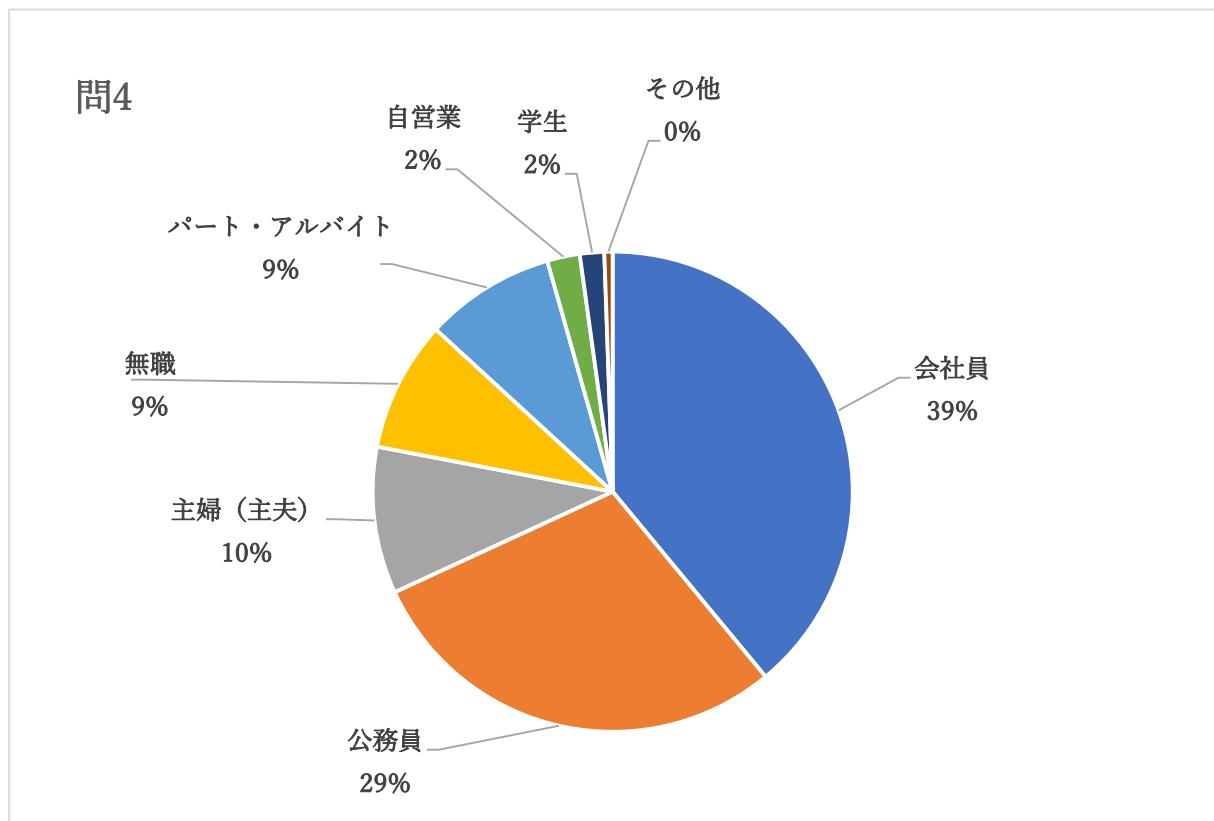
問2. 年齢は？



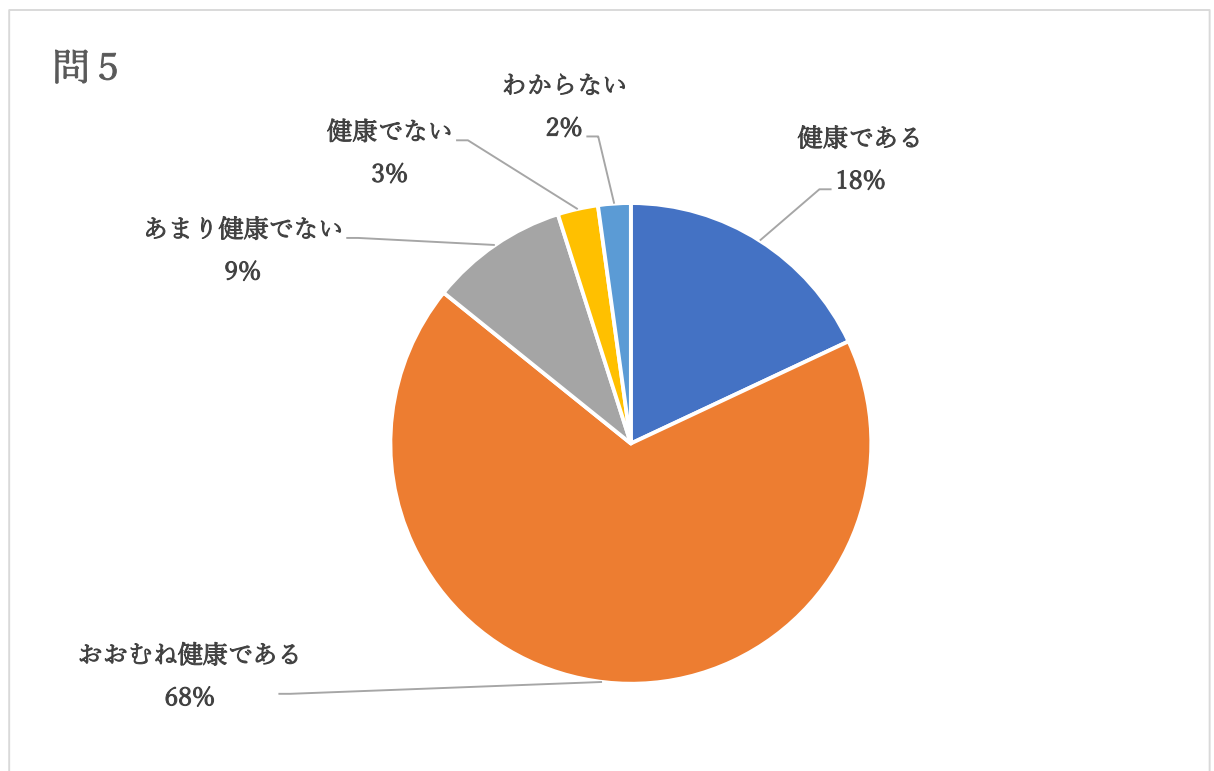
問3. どの地域に住んでいますか？



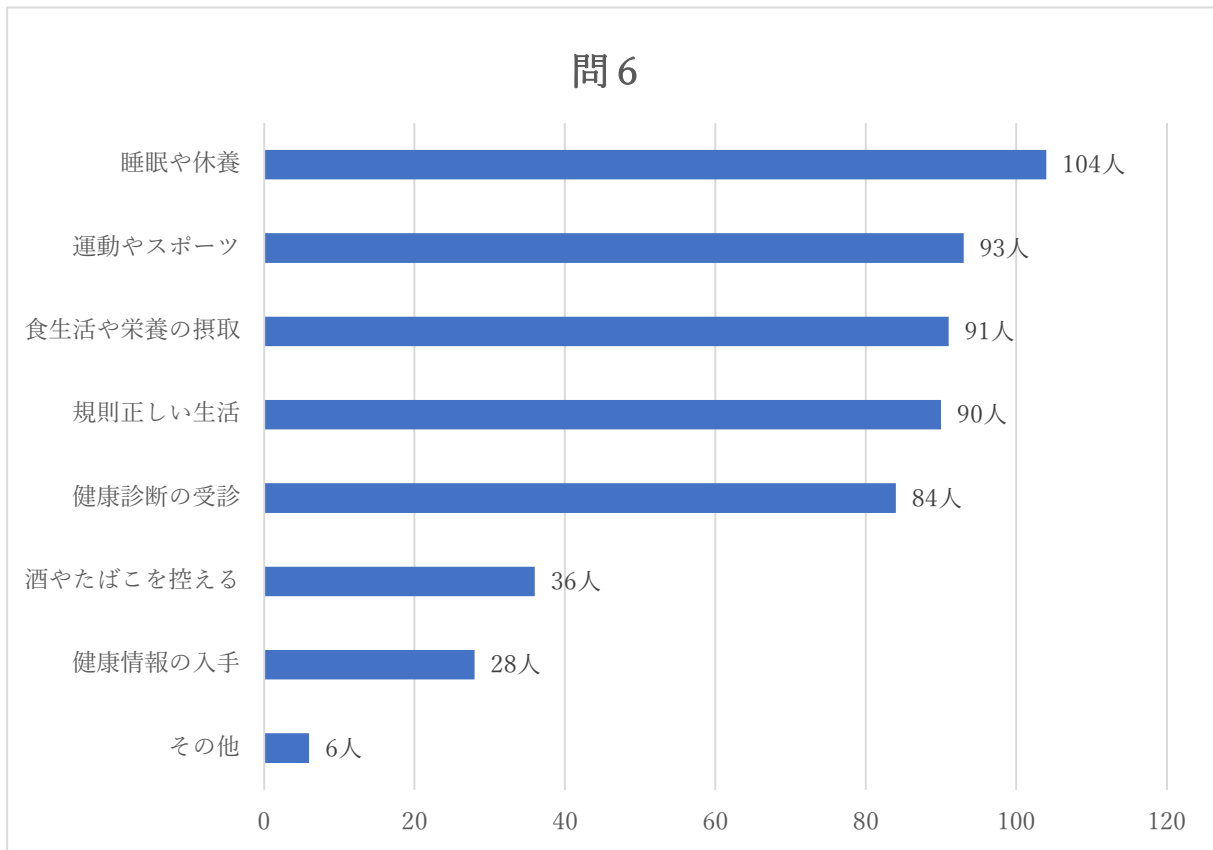
問4. ご職業は？



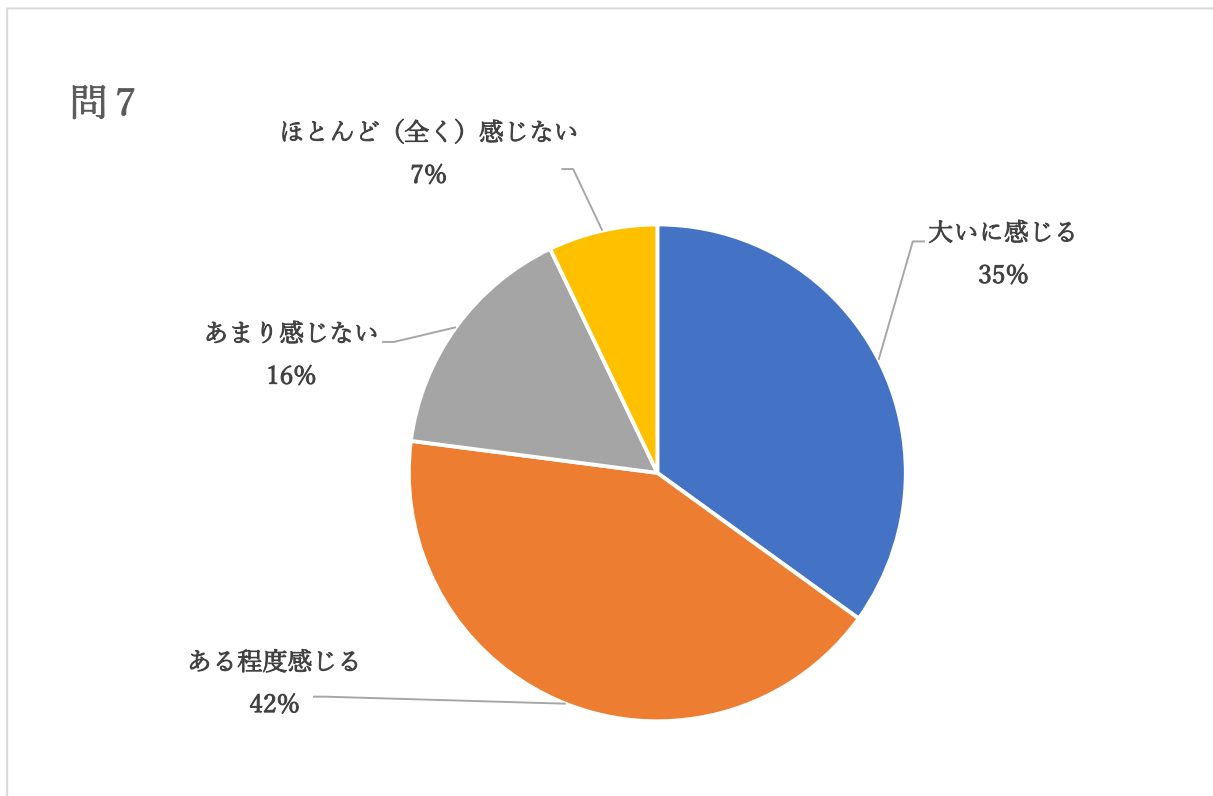
問5. 健康だと思えますか？



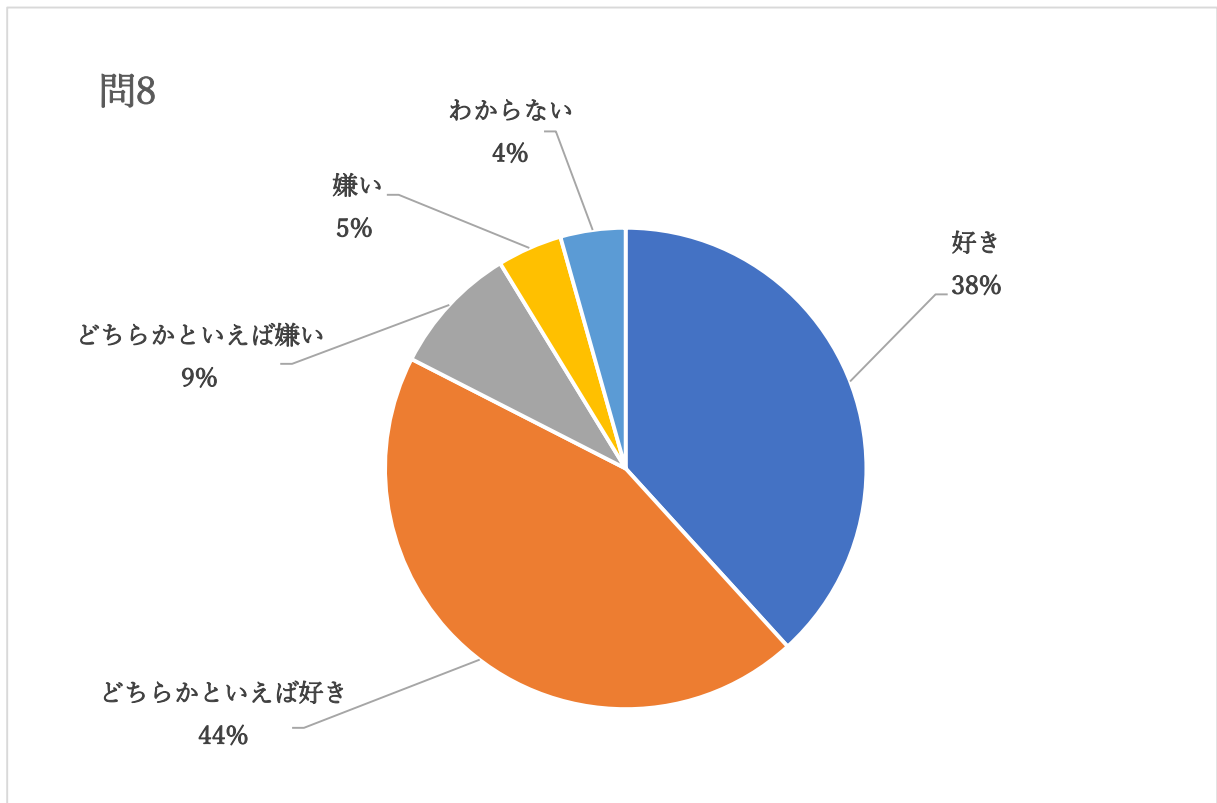
問6. 健康を維持するため、気をつけていることは何ですか？（複数可）



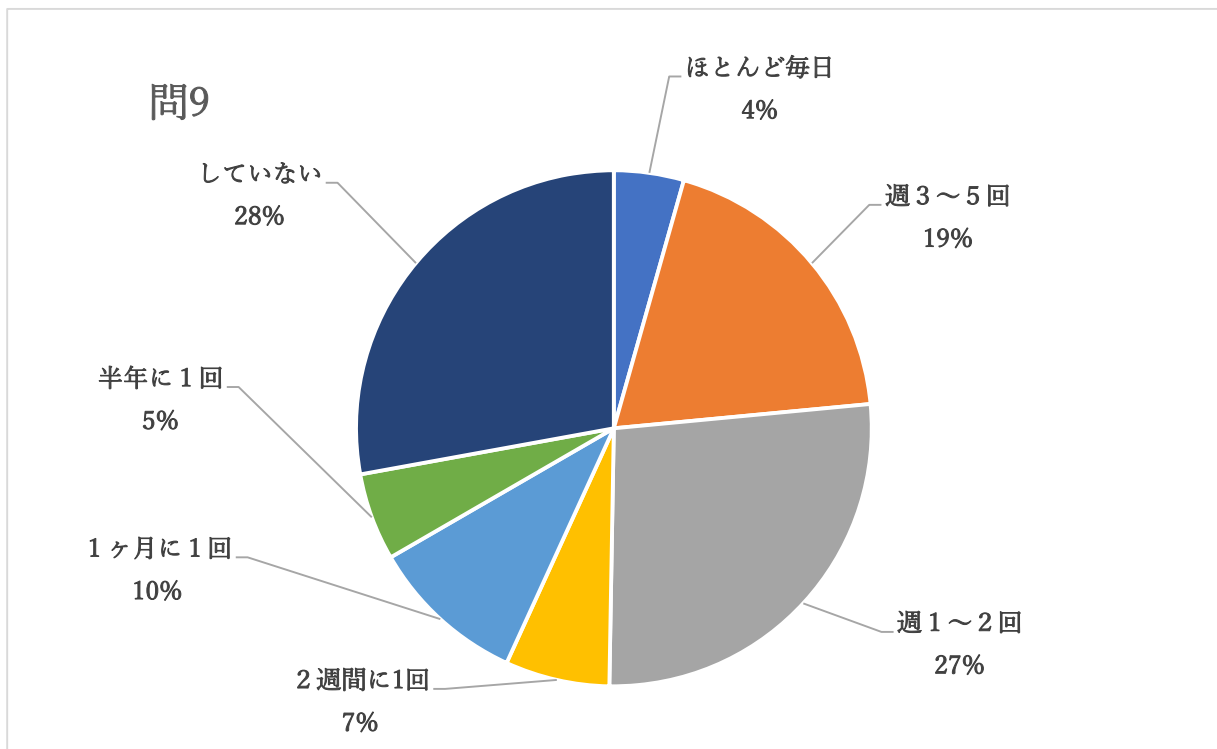
問7. 普段運動不足を感じていますか？



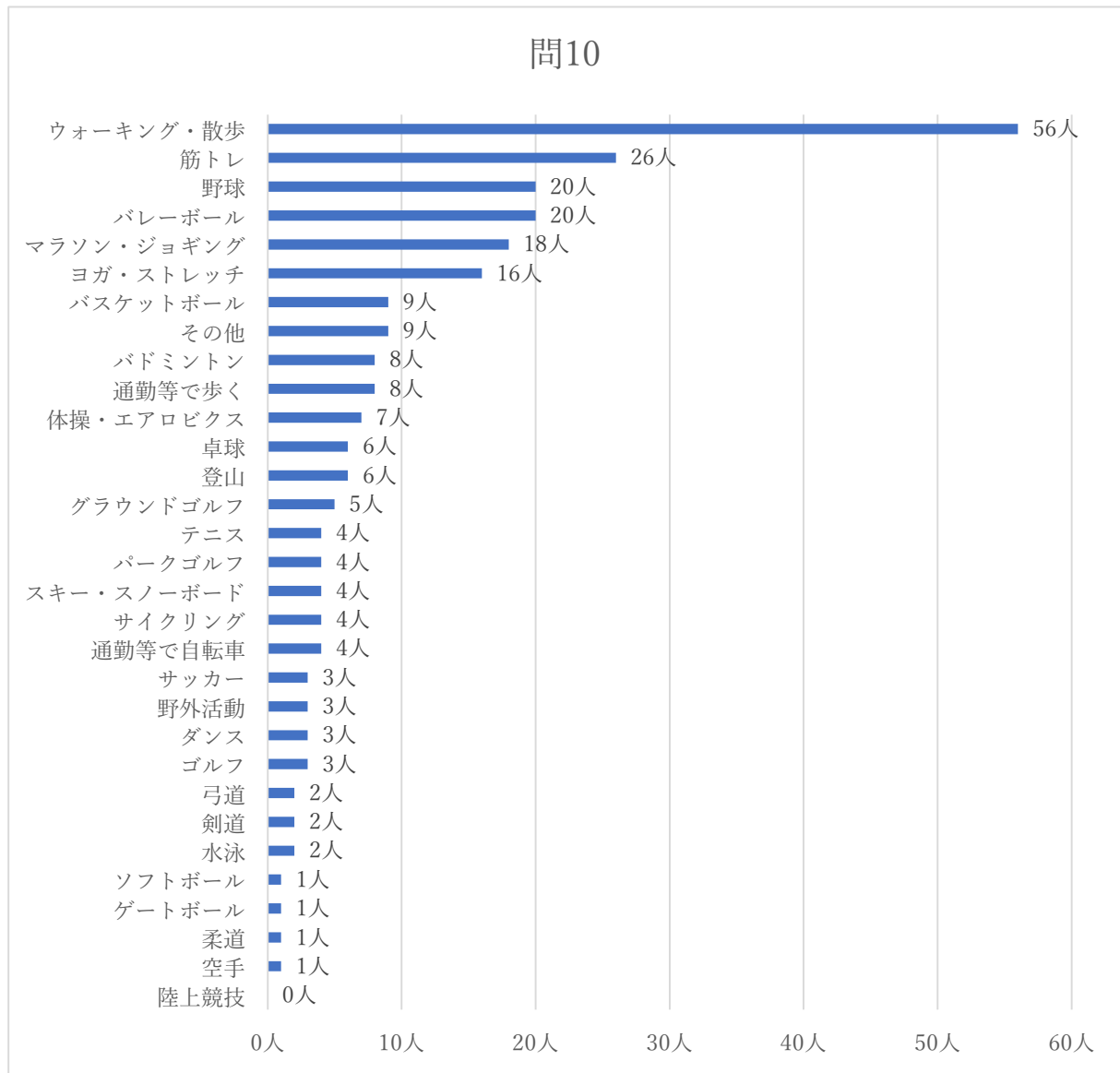
問8. 運動やスポーツ活動など体を動かすことが好きですか？



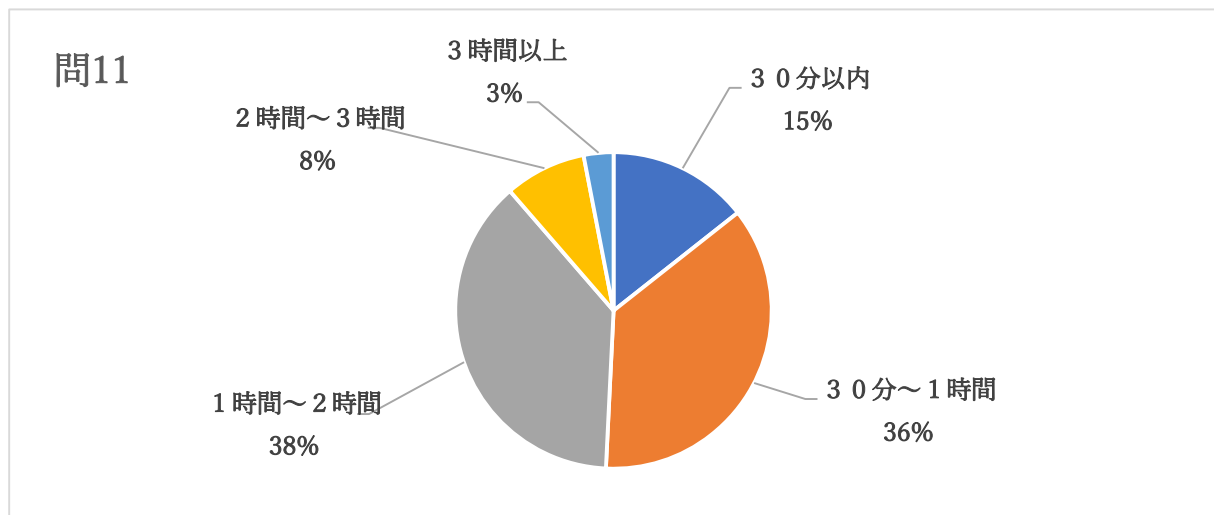
問9. この1年間で運動やスポーツ活動をどの程度していますか？



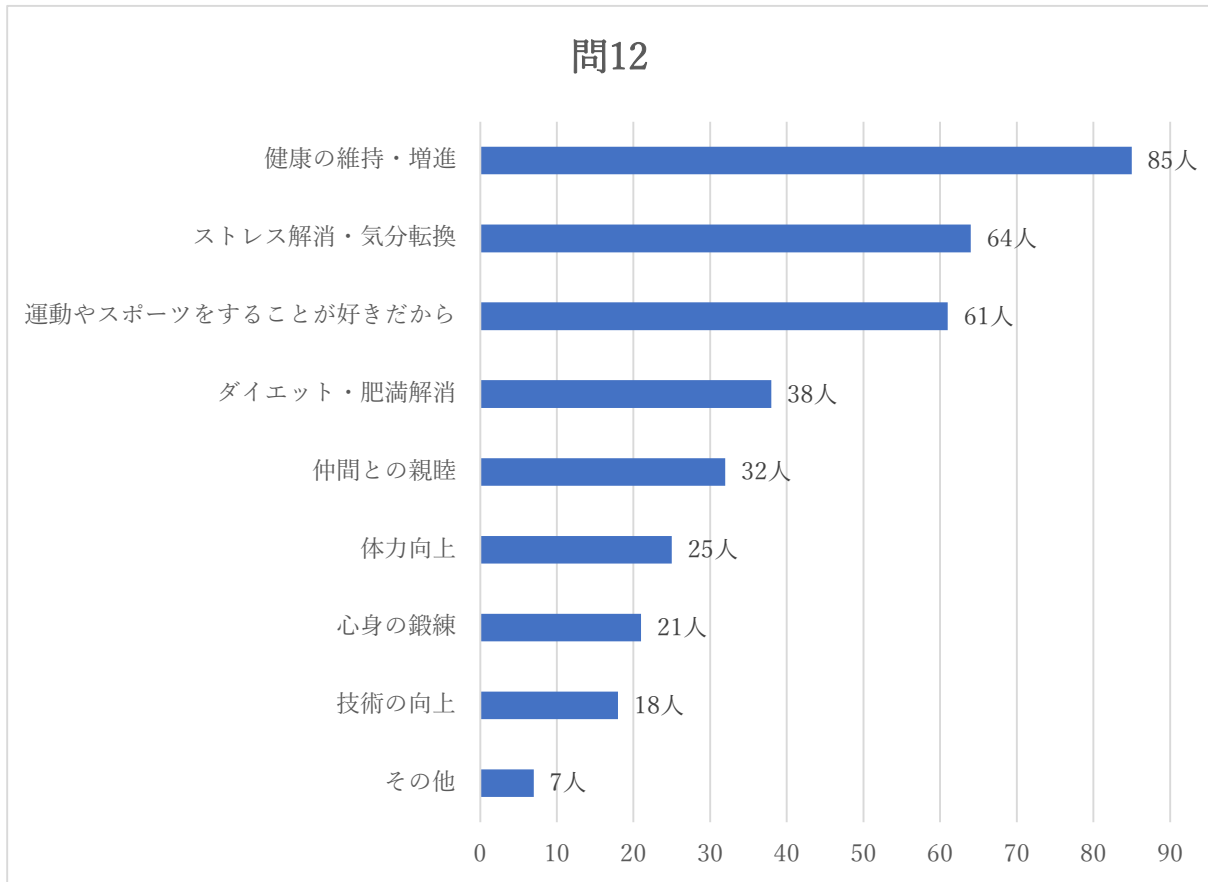
問10. どのような運動やスポーツ活動をしていますか？（複数可）



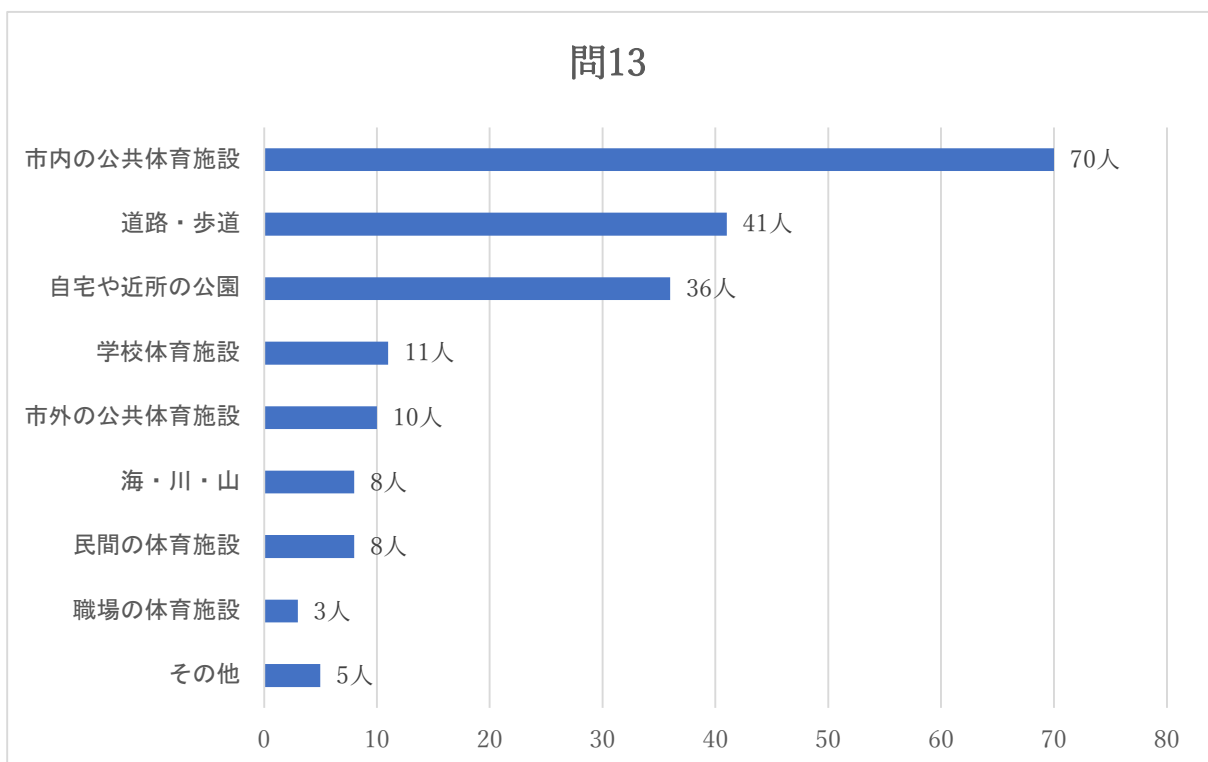
問11. 1回につきどの位の時間、運動やスポーツ活動を行っていますか？



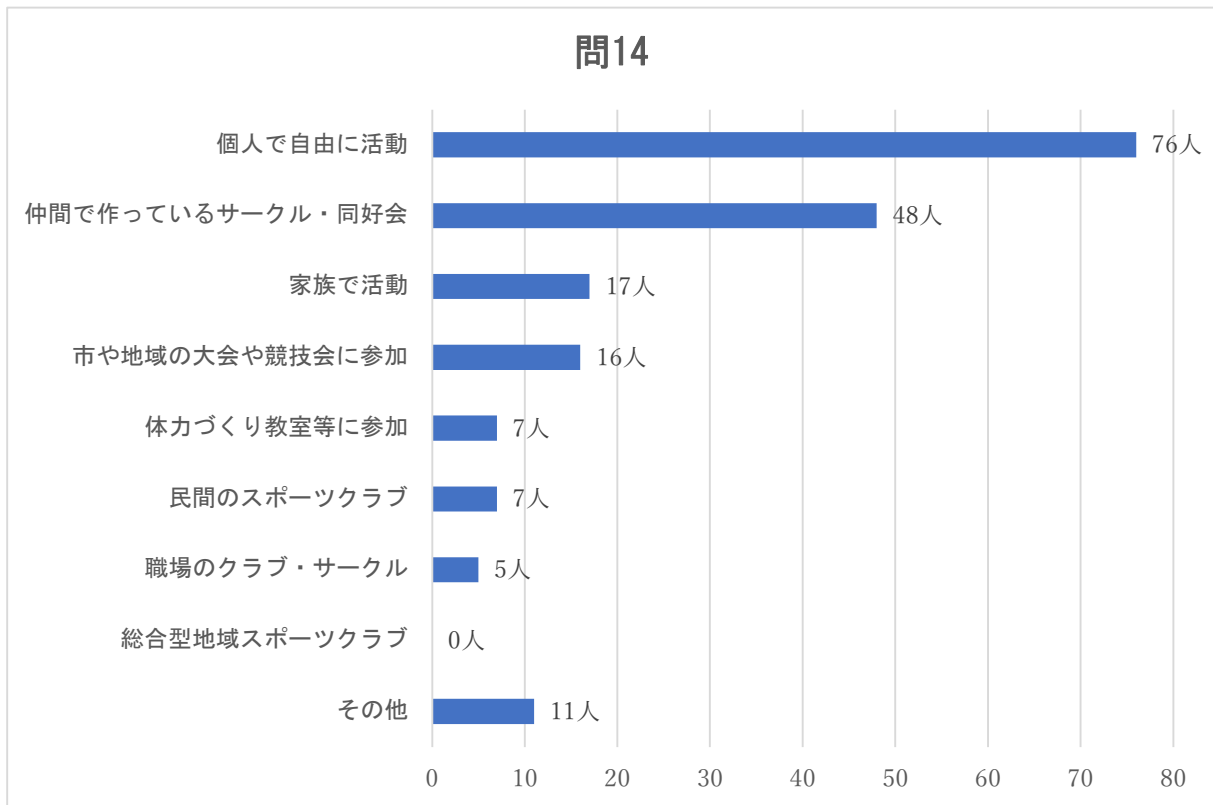
問12. 運動やスポーツ活動をする理由は何ですか？（複数可）



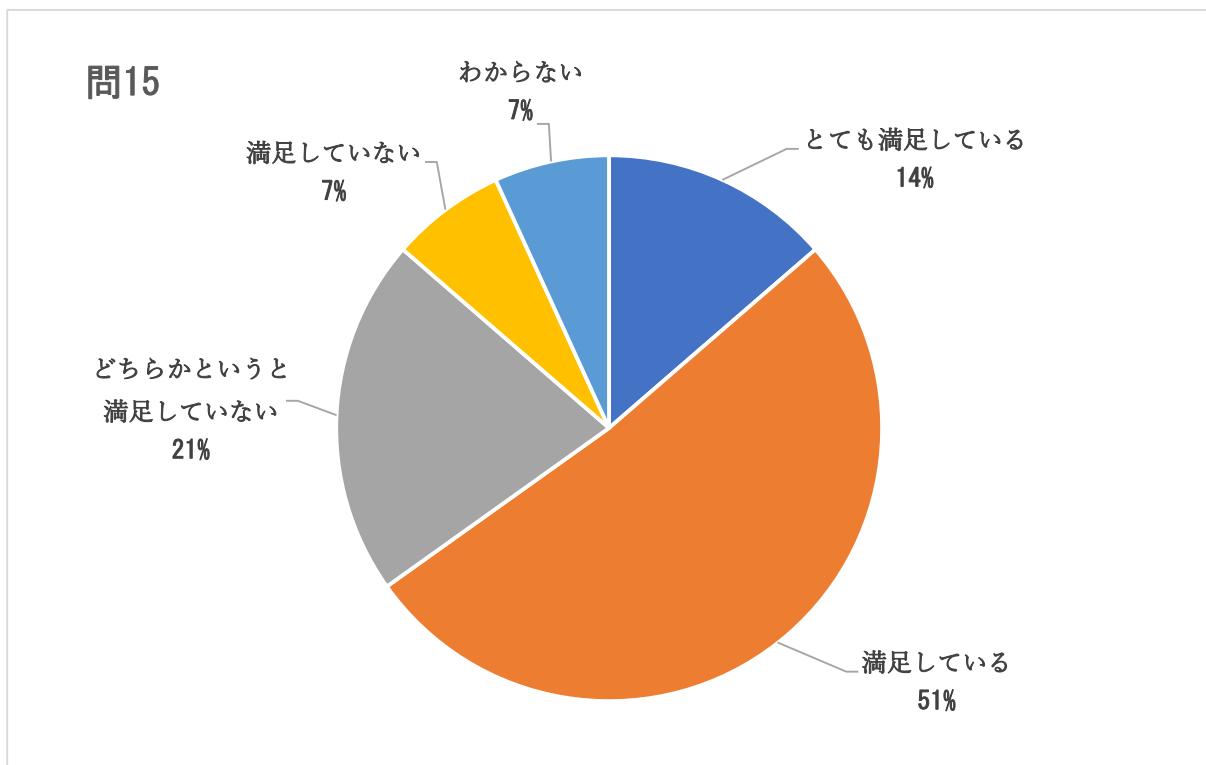
問13. 主にどこで運動やスポーツ活動を行っていますか？（複数可）



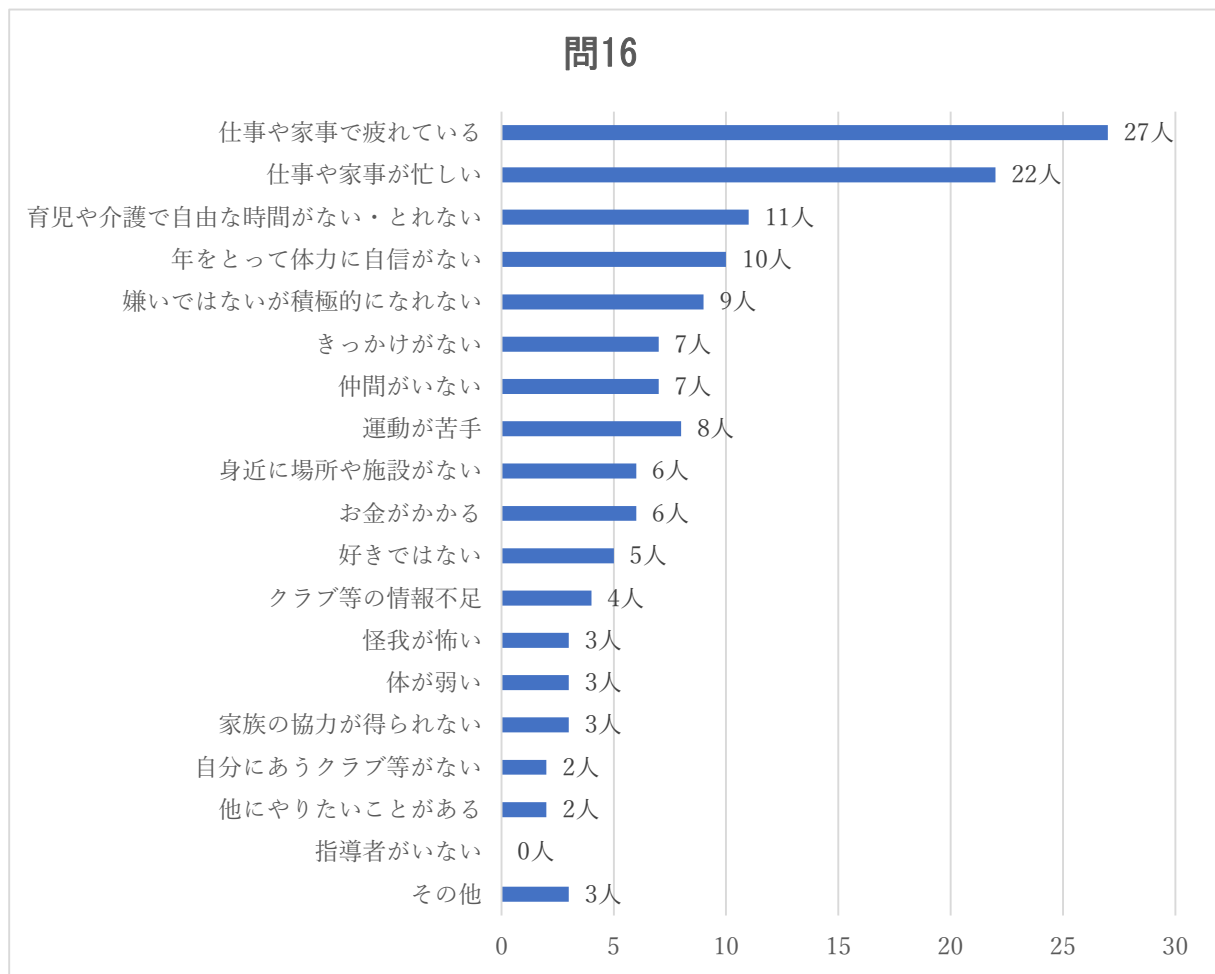
問14. どのようにして運動やスポーツ活動を行っていますか？（複数可）



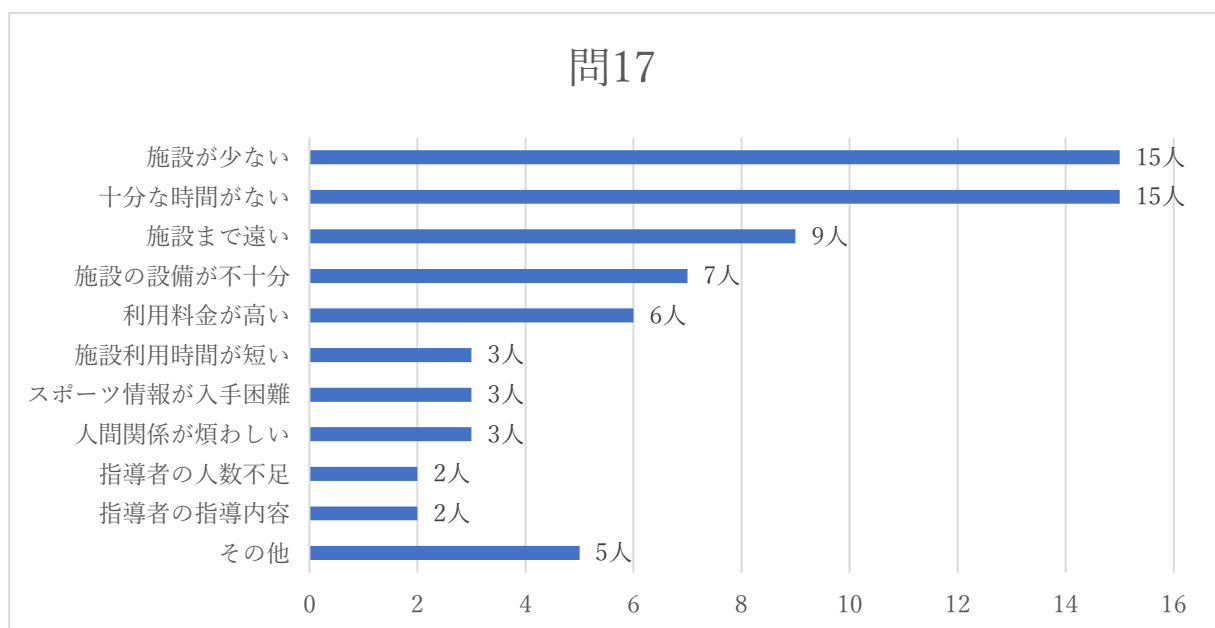
問15. 現在行っている運動やスポーツ活動に満足していますか？



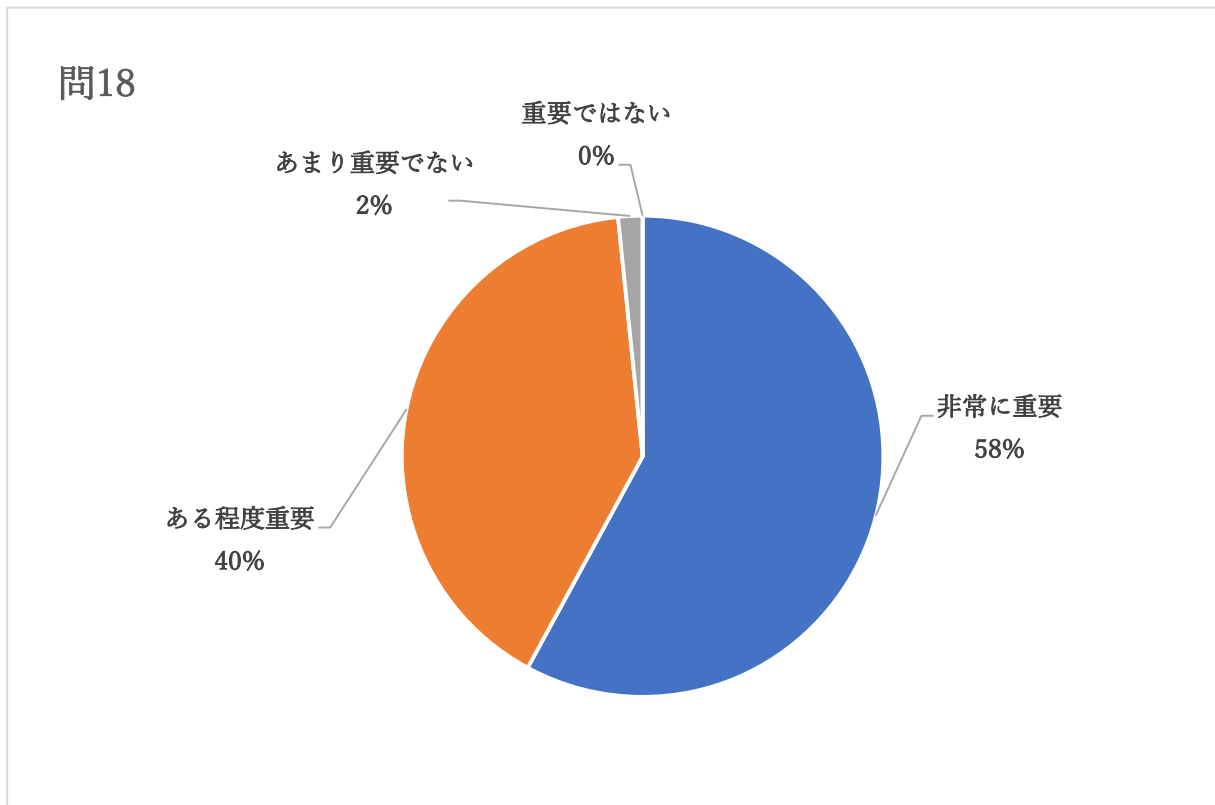
問16. 問9で「していない」と回答された方にお尋ねします。運動やスポーツ活動をしていない理由は何ですか？（複数可）



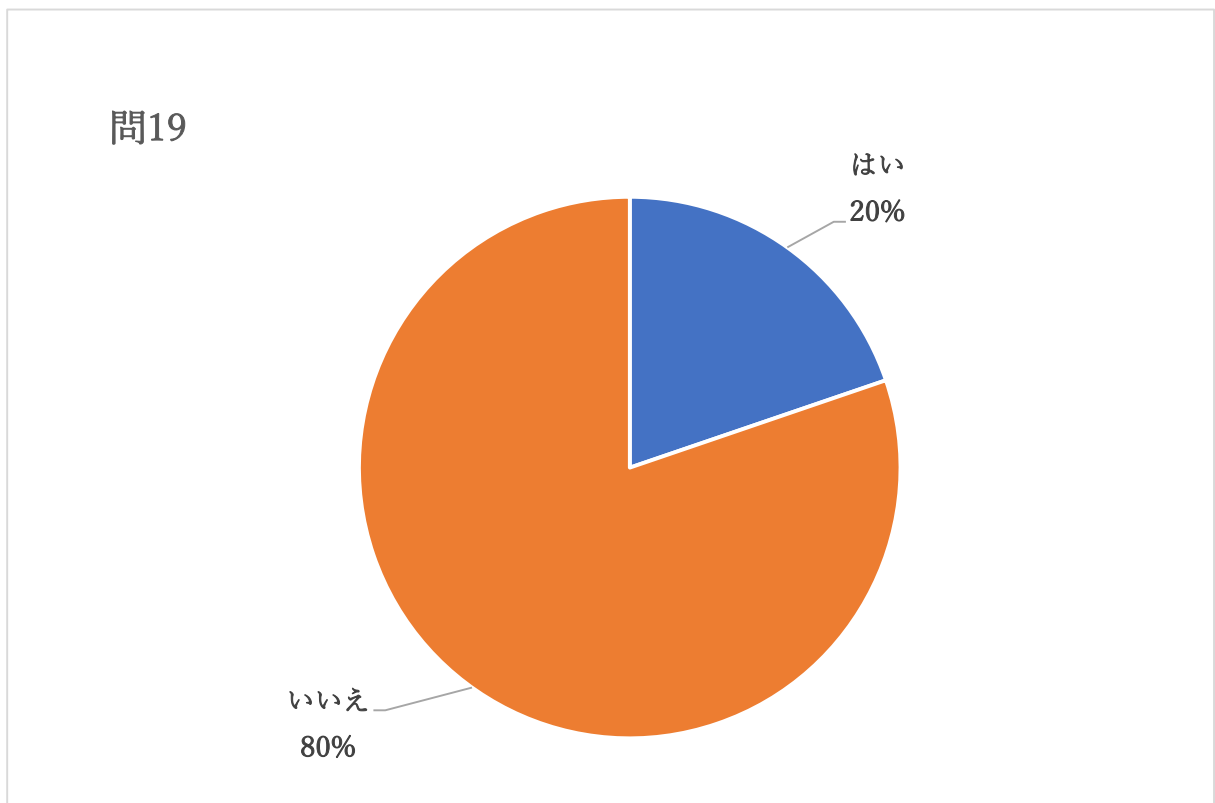
問17. 問15で「どちらかという満足していない、満足していない」と回答された方にお尋ねします。満足していない理由は何ですか？（複数可）



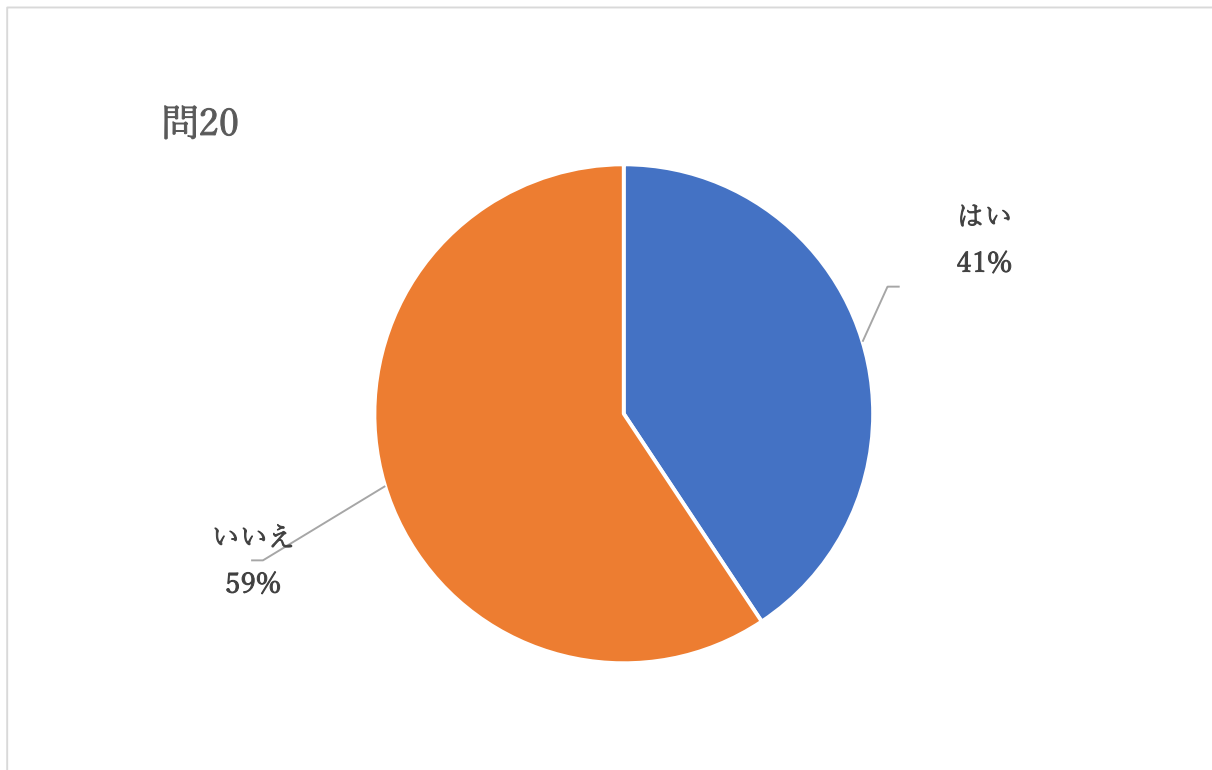
問18. 健康増進にスポーツは重要だと思いますか？



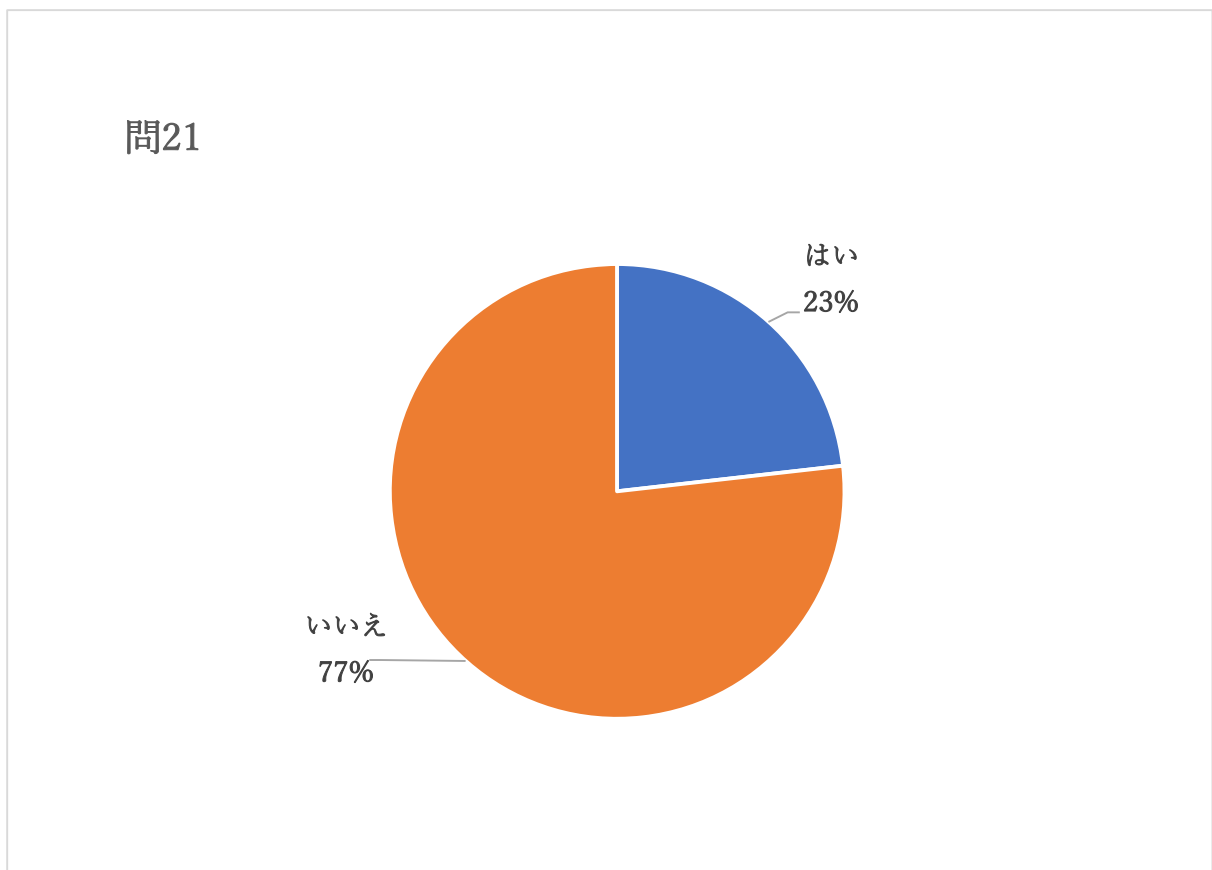
問19. スポーツ指導者などの支援を受けたことがありますか？



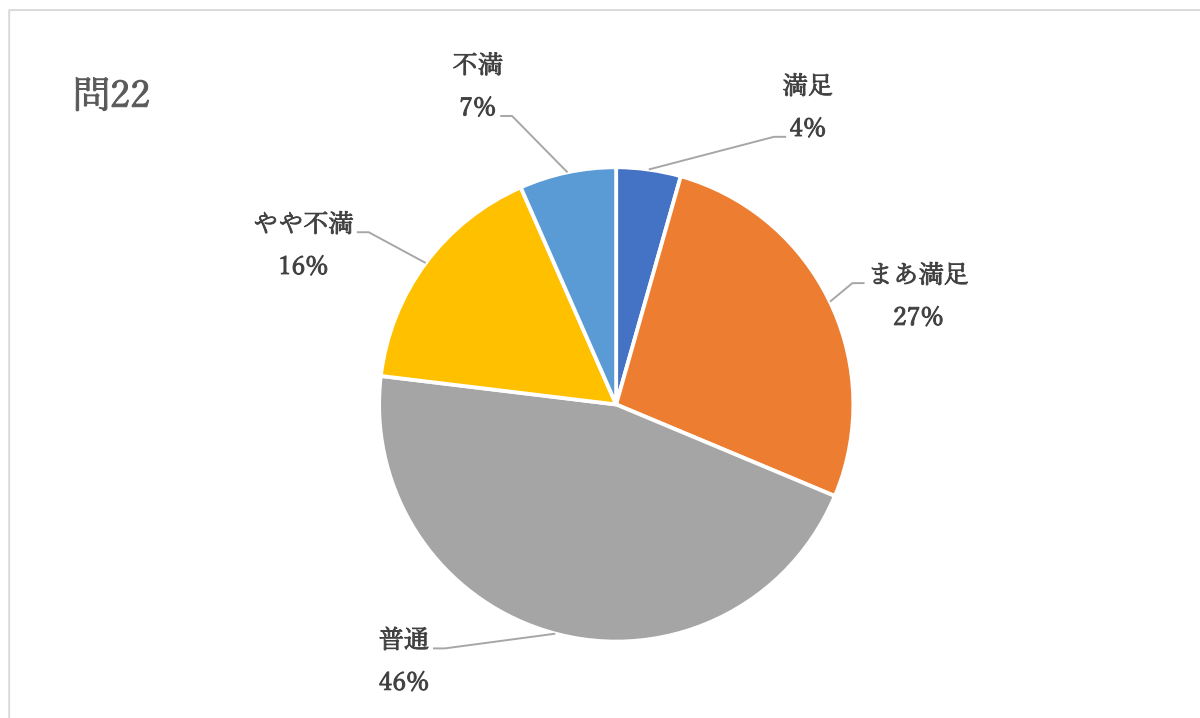
問20. 市のスポーツ大会に参加したことがありますか？



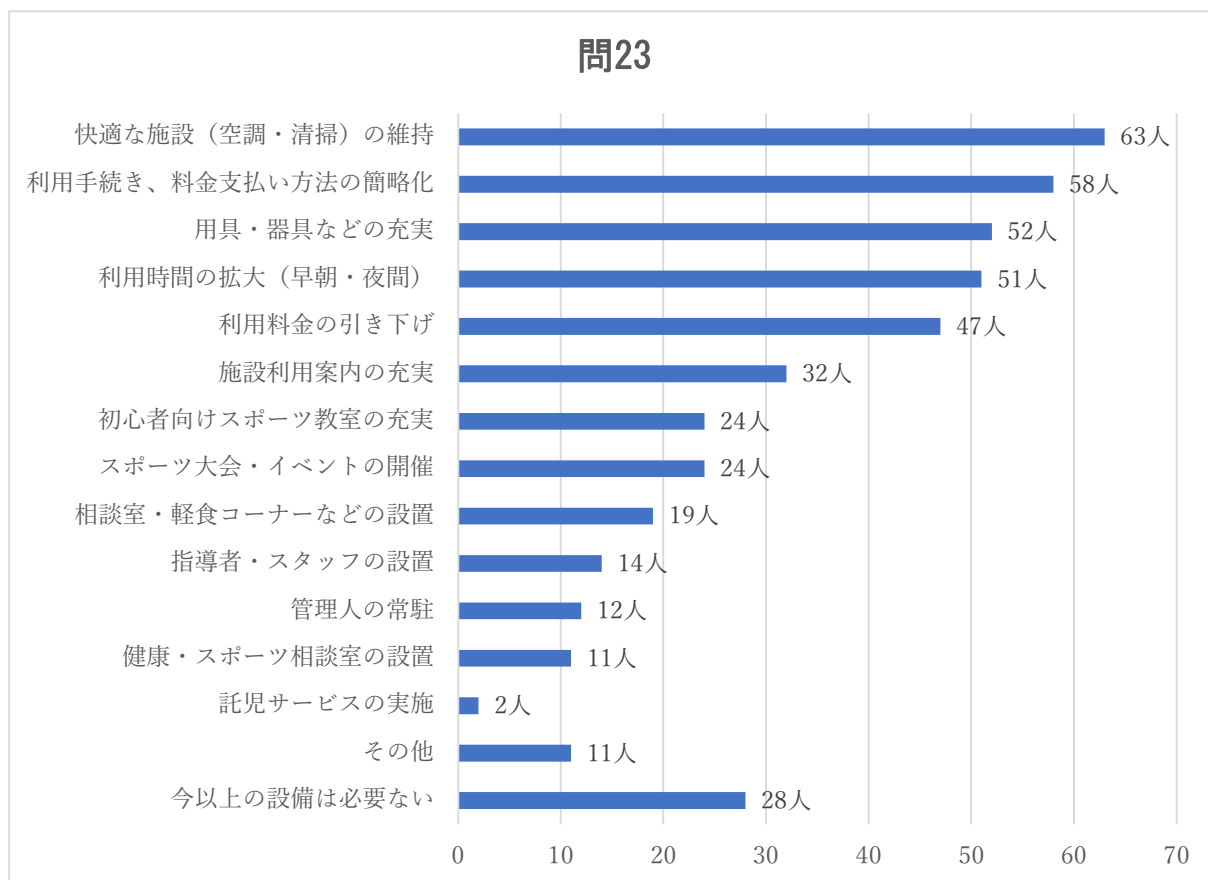
問21. 市のスポーツ教室に参加したことがありますか？



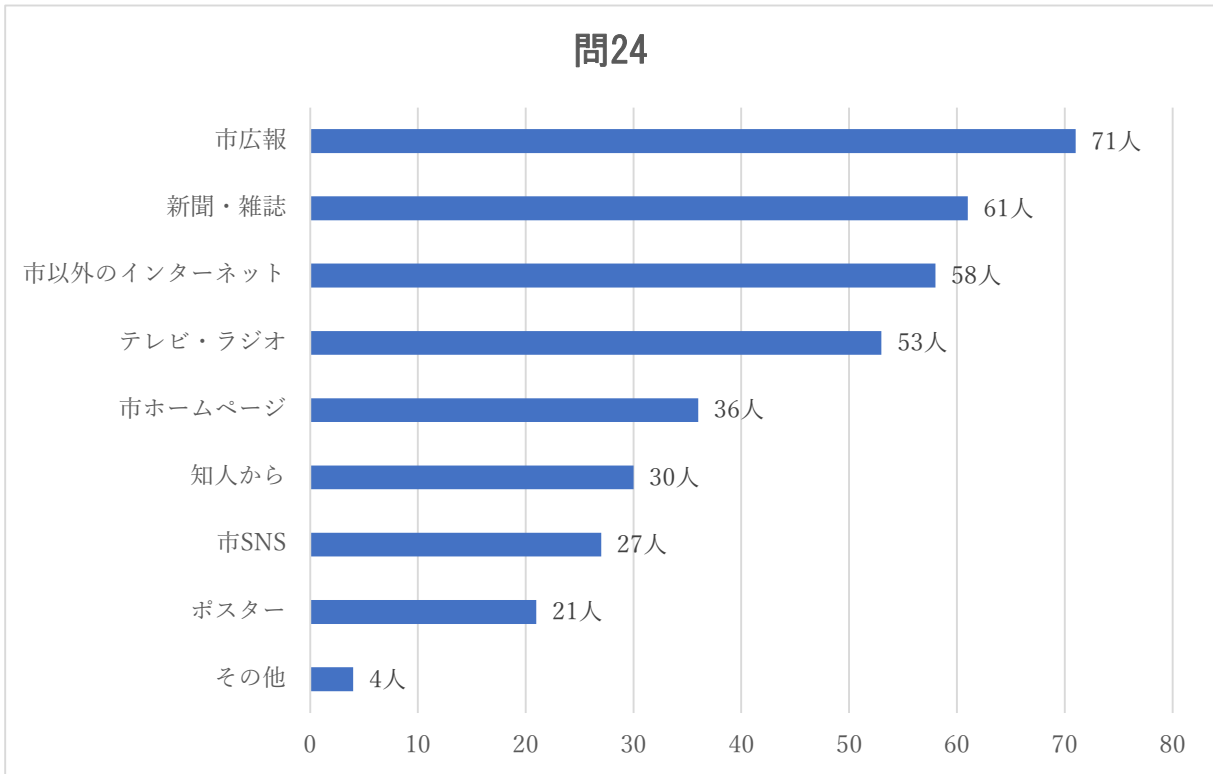
問22. 市のスポーツ施設に満足していますか？



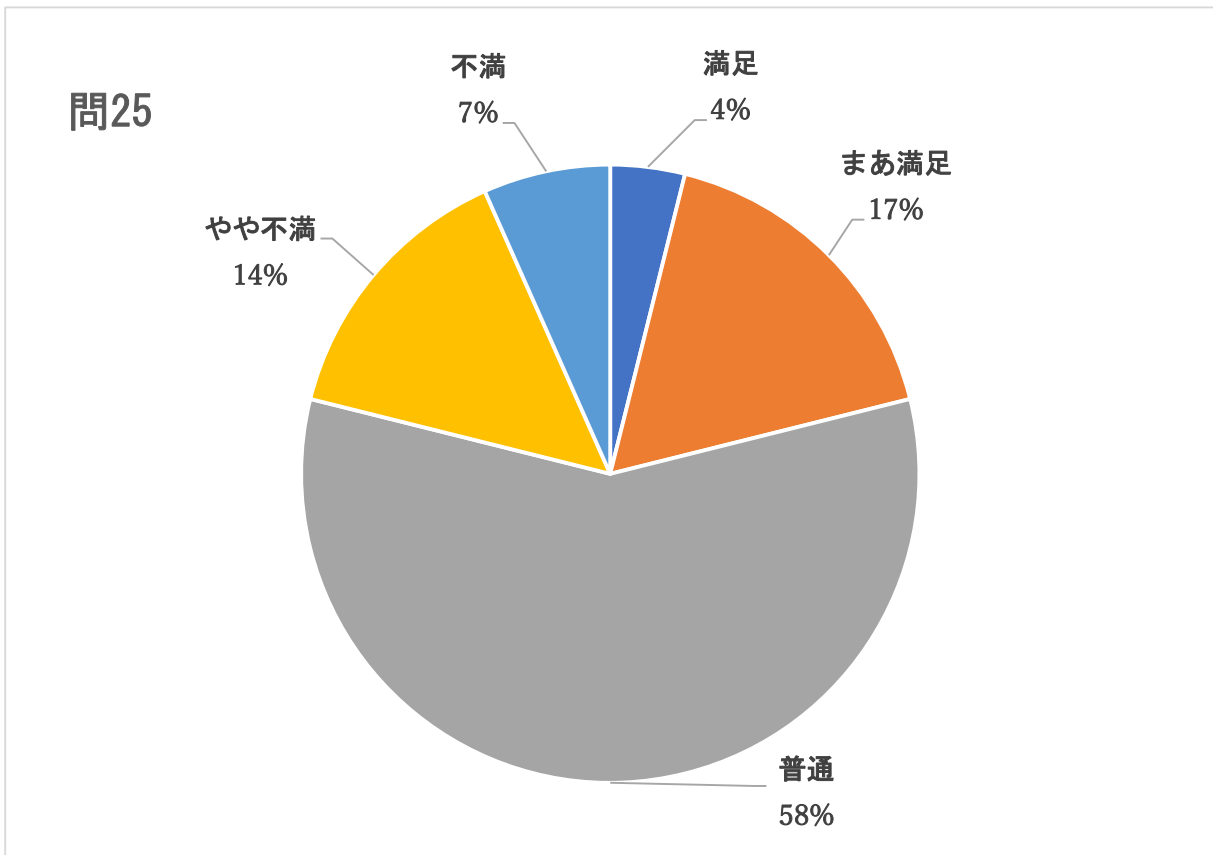
問23. 市のスポーツ施設の管理・運営について何を望みますか？（複数可）



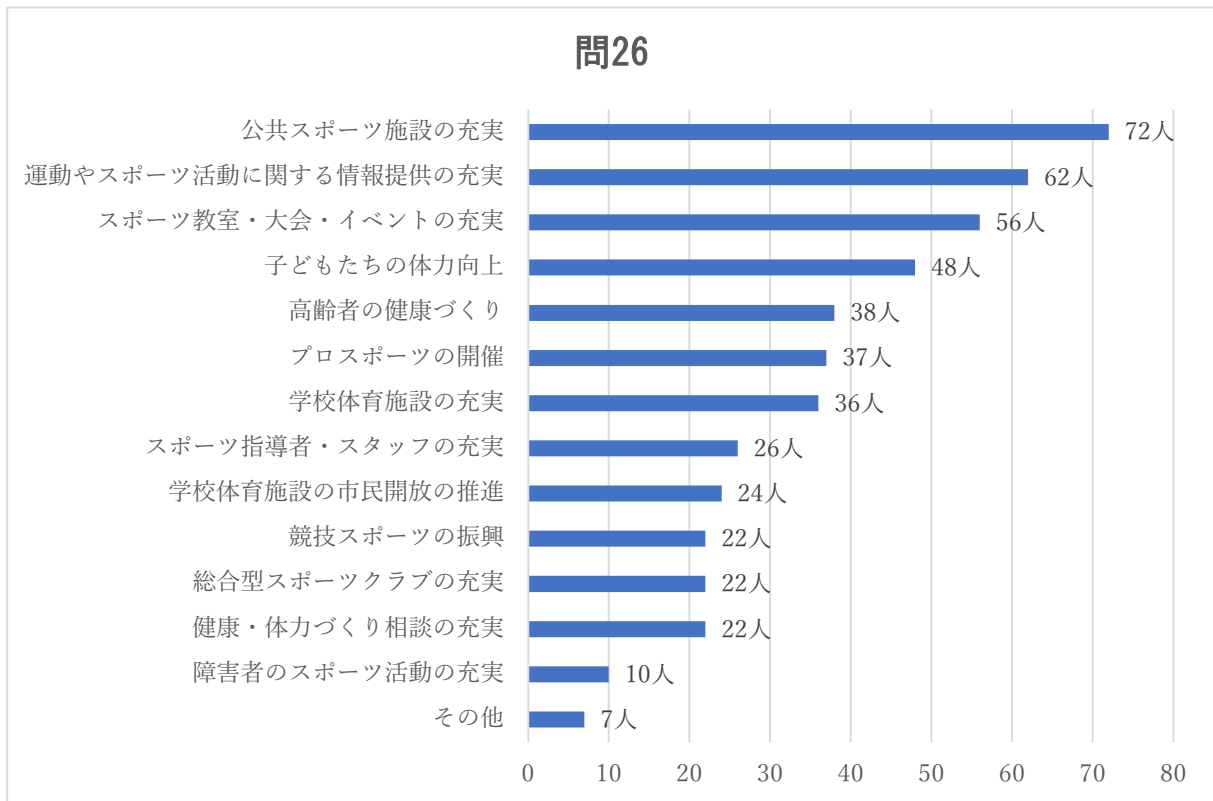
問24. 何からスポーツに関する情報を得ていますか？（複数可）



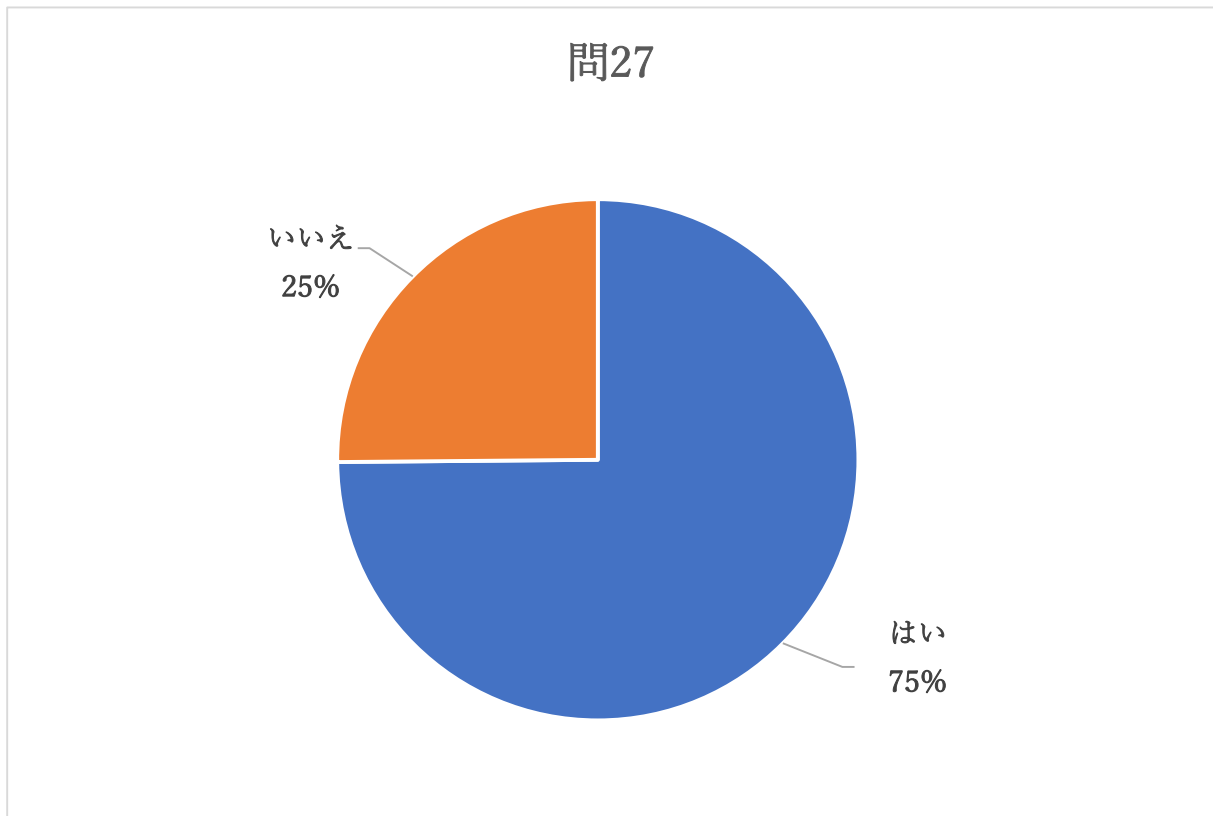
問25. 市のスポーツ振興施策に満足していますか？



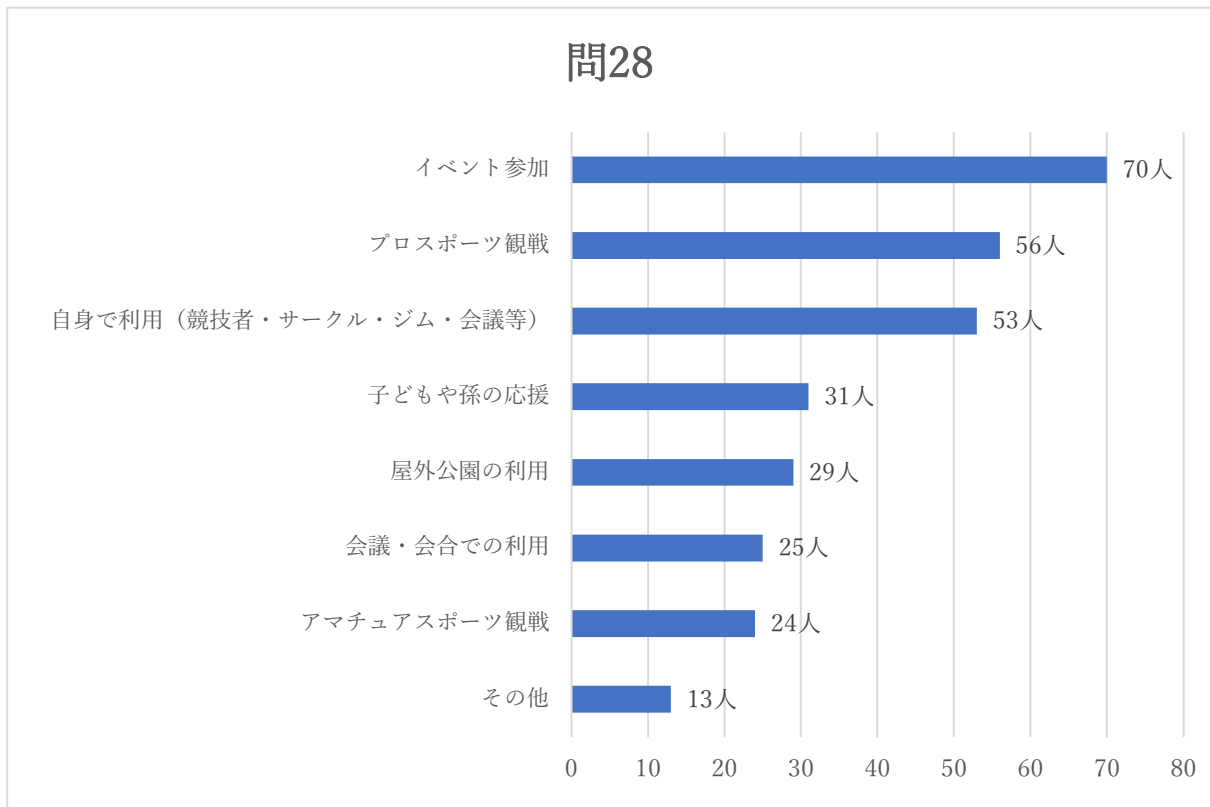
問26. 市のスポーツ振興について、今後どのような点に力を入れてほしいと思いますか？（複数可）



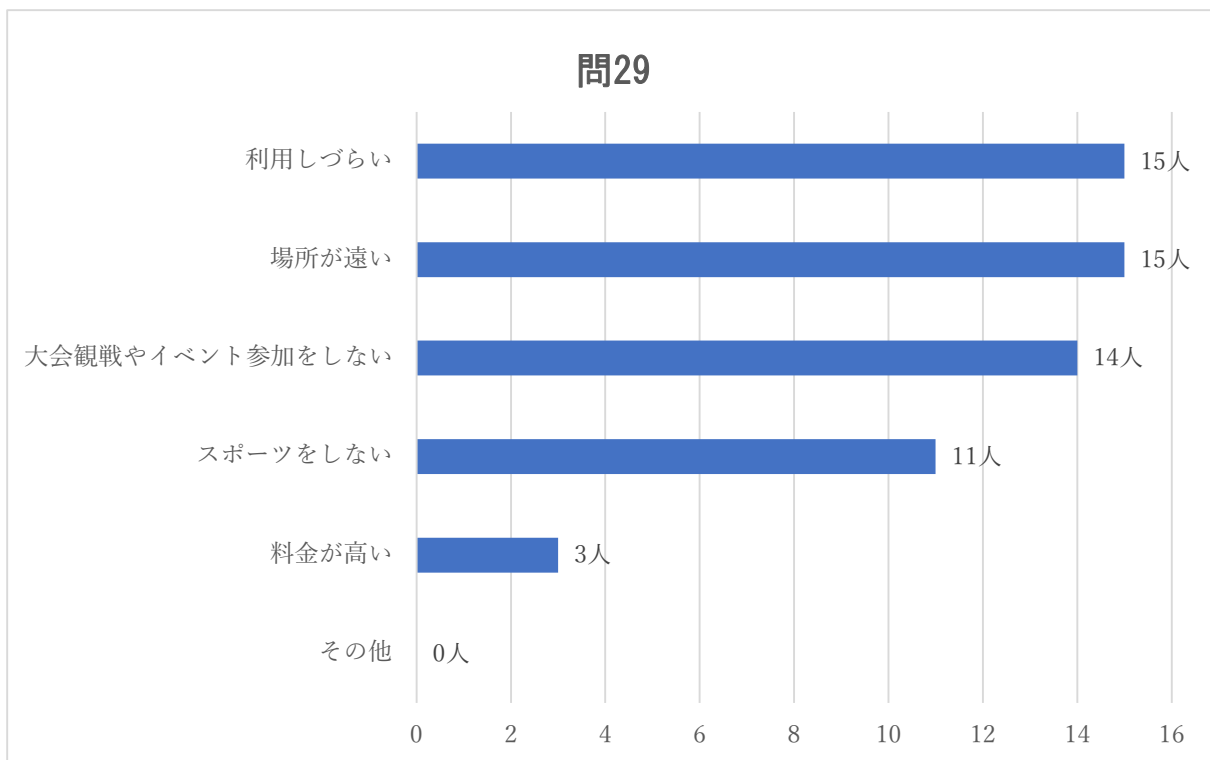
問27. 由利本荘アリーナ（ナイスアリーナ）を利用したことはありますか？



問28. 由利本荘アリーナ（ナイスアリーナ）を利用した理由は？（複数可）



問29. 由利本荘アリーナ（ナイスアリーナ）を利用しない理由は？（複数可）



2. 由利本荘市社会体育施設及び関連施設

R8. 4. 1現在

施設の名 称	設置場所	設置・建設 年 月	建設経費 (千円)	施設 の 概 要
本荘由利総合運動 公園野球場	水林268 ☎44-8698 (市コミュニティ体 育館)	昭和 53年 3月	平成23～ 24年改修 368,270	面積13,000㎡、両翼100m、中堅122m、本 塁後方20m、全面人工芝、電光掲示板、1 種公認、収容5,000人、駐車場290台
本荘由利総合運動 公園陸上競技場	水林379 ☎44-8698 (市コミュニティ体 育館)	昭和 55年 3月	平成18～ 19年改修	敷地面積23,500㎡、1周400mトラック(全 天候舗装)、サッカー兼用フィールド100m ×65m、3種公認、収容10,000人(メイ ン1,000人、芝9,000人)
本荘由利総合運動 公園テニスコート	水林379 ☎44-8698 (市コミュニティ体 育館)	昭和 55年 3月	80,000	敷地面積4,000㎡、全天候型4面、駐車場 200台
由利本荘アリーナ (ナイスアリーナ)	石脇字田尻野18 ☎22-0001	平成 30年 6月	7,971,976	SRC一部S造2階建(一部3階建)16,966㎡、 メインアリーナ3,458㎡、バスケットボール 4面、固定席2,269席、可動席1,280席、最 大収容人数5,000人、サブアリーナ640㎡、 バスケットボール1面、剣道場2面、柔道 場2面、トレーニングルーム、フィットネ スタジオリビング2室、選手控室、ボルダリ ングウォール、合宿用宿泊室、浴室、調理室、 ラウンジ、会議室、事務室
		平成 30年 6月	446,040	【屋根付きグラウンド】 RC一部S造平屋建1,613㎡、人工芝、フット サル1面またはテニス2面
鶴 舞 球 場	切通地内 ☎44-8698 (市コミュニティ体 育館)	昭和 59年 3月	132,000	広場面積16,370㎡、ソフトボール2面、野 球、サッカー、照明施設
本 荘 プ ー ル	蟻山1 (担当課) 文化・スポーツ課 ☎74-8038	昭和 49年 5月	28,900	50m×19.4m(8コース)、水深1m50cm
大 手 門 温 水 プ ー ル「遊 泳 館」	尾崎23 ☎24-0134	平成 14年11月	920,000	総面積1,882㎡、25m×12m(6コース)、 水深1m20cm、リラクゼーションプール、 子供用プール55cm、歩行用プール1m
石 脇 体 育 館	石脇字弁慶川2 ☎44-8698 (市コミュニティ体 育館)	昭和 55年 3月	137,947	延床面積1,370㎡、バスケットボール1面 (家庭バレーボール2面)、事務室
石 脇 公 園 グ ラ ウ ン ド	石脇字弁慶川地内 (担当課) 都市計画課 ☎24-6399	昭和 56年 3月	12,140	広場面積17,000㎡
石 脇 公 園 テ ニ ス コ ー ト	石脇字弁慶川地内 (担当課) 都市計画課 ☎24-6399	昭和 56年 3月	2,464	面積1,600㎡、テニス2面

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	建設経費 (千円)	施設の概要
本荘第二体育館	桜小路1-5 ☎44-8698 (市コミュニティ体育館)	昭和 59年 3月	82,338	延面積744.60㎡、フロア面積660㎡(30m×22m)、バスケットボール1面、バレーボール1面
尾崎グラウンド	桜小路1-5 ☎44-8698 (市コミュニティ体育館)	平成 5年 3月		野球場1面
松涛公園 グラウンド	石脇字石ノ花、 田尻野地内 (担当課) 都市計画課 ☎24-6399	昭和 50年12月	19,100	広場面積34,158㎡ソフトボール2面、遊園地
由利本荘市 コミュニティ 体育館	美倉町30 ☎44-8698	平成 26年 3月	290,537	延床面積893.76㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン2面、テニス1面
トリム ランニングコース	本荘公園内 (担当課) 文化・スポーツ課 ☎74-8038	昭和 54年 3月		公園内1周3kmコース
鶴舞会館体育室	瓦谷地1 ☎24-2911	昭和 56年 5月		フロア面積415.76㎡、バレーボール1面、バドミントン2面
松ヶ崎運動広場	神沢字大森山 (担当課) 松ヶ崎公民館 ☎28-2001	昭和 47年11月	970	広場面積5,091㎡
松ヶ崎体育館	松ヶ崎字荒町北側地 内 (担当課) 松ヶ崎公民館 ☎28-2001	平成 7年 3月	472,805	建物総面積1,251㎡、フロア面積(アリーナ)738㎡、バスケットボール1面、バレーボール1面、バドミントン3面、テニス1面、事務室、会議室、交流室
南内越コミュニティ 体育館	川口字愛宕山150 (担当課) 南内越公民館 ☎22-0316	昭和 53年 7月	109,995	総面積1,100㎡、フロア面積704㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン2面、事務室、集会室等
南内越プール	川口字愛宕山137-2 (担当課) 南内越公民館 ☎22-0316	昭和 44年 7月	4,902	25m×9m、幼児プール50㎡、水深1m～1m10cm
南内越運動広場	川口字愛宕山150 (担当課) 南内越公民館 ☎22-0316	昭和 46年11月	904	広場面積3,164㎡
子吉公民館 講堂	埋田字用堰北17 (担当課) 子吉公民館 ☎22-0425	昭和 57年11月	95,702	フロア面積408㎡、バレーボール1面、バドミントン2面
子運動広 吉場	埋田字用堰北17 (担当課) 子吉公民館 ☎22-0425	昭和 59年6月	700	広場面積2,000㎡

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	建設経費 (千円)	施設の概要
小友地区健康増進 センター	三条字三条谷地70-1 (担当課) 小友公民館 ☎22-0318	昭和 63年 7月	162,125	建物総面積1,095.2㎡、アリーナ671㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン2面、軽運動室、ミーティングルーム
北内越公民館 講堂	内越字平岡304-1 (担当課) 北内越公民館 ☎22-0319	平成 5年 3月		フロア面積563.92㎡、バレーボール2面バドミントン2面
北内越運動広場	内越字中ノ目209 (担当課) 北内越公民館 ☎22-0319	昭和 51年 9月		11,822㎡
ボートプラザ 「アクアパル」	北裏地54-1 ☎22-5611	平成 8年 4月	2,763,396	RC 2階建一部鉄骨造3,749㎡、多目的ホール、ボートスクエア、ボートガレージ、ミュージアム、スカイギャラリー、セミナー室、フィットネスジム、事務室等
光風園相撲場	砂糖畑地内 (担当課) 文化・スポーツ課 ☎74-8038	平成 11年 4月	36,000	相撲檜場建築面積70.8㎡、床面積55.5㎡、管理棟建築面積60.8㎡、床面積55.9㎡ ※現在使用不可
本荘弓道場	水林265 ☎44-8698 (市コミュニティ体育館)	平成 17年 3月	270,886	近的12人立ち、射場床面積1階646.20㎡、2階290.25㎡、的場・矢取り通路337.20㎡、木造2階建一部鉄骨造り、射場1階部分 男女更衣室、用具室、巻藁室、事務室、審判控室、射場、射場2階部分110畳和室(選手控室)
田頭河川敷 運動公園	石脇字田頭207 ☎44-8698 (市コミュニティ体育館)	平成 15年 5月	国土交通省 占用	芝生広場6,500㎡(グラウンドゴルフ、フライングディスク等)
石沢体育館	館字六角168 (担当課) 石沢公民館 ☎29-2111	昭和 54年12月		鉄骨平屋建835㎡ 床面積813.75㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面
石沢運動広場	館字六角167 (担当課) 石沢公民館 ☎29-2111			広場面積9,500㎡
由利本荘市 ソフトボール場	荒町字荒町下地内 ☎44-8698 (市コミュニティ体育館)	平成 18年 6月	477,461	面積14,236.6㎡、両翼80m 2面、管理棟、トイレ棟、駐車場(普通車26台,大型車6台,障害者用3台)、照明施設8基
芋川桜つつみ パークゴルフ場	内黒瀬字新荒町地内 ☎24-4811	平成 18年 9月	76,000	面積12,000㎡、18ホール、管理棟、駐車場30台(普通車29台,障害者用1台)
矢島多目的 運動広場	矢島町七日町字上山 寺34-2 (担当課) 矢島産業建設課 ☎55-4953	平成 5年 6月		面積13,300㎡、両翼98m、中堅122m、更衣室

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	建設経費 (千円)	施設の概要
矢島ソフトボール場	矢島町七日町字上山寺20-1 (担当課) 矢島産業建設課 ☎55-4953	平成 16年11月		面積12,600㎡
矢島屋内運動広場	矢島町七日町字羽坂173 (担当課) 矢島産業建設課 ☎55-4953	平成 8年 3月		鉄筋平屋建1,195㎡、ミーティングルーム
矢島格技場	矢島町矢島町1 (担当課) 矢島産業建設課 ☎55-4953	平成 12年12月 県より移 管		木造平屋建366.9㎡、剣道場、柔道場、トイレ、床面積337㎡
矢島体育センター	矢島町七日町字上山寺54-1 (担当課) 矢島産業建設課 ☎55-4953	昭和 57年 3月		RC 2階建864㎡、鉄筋平屋建1,105.5㎡、アリーナ、ミーティングルーム、更衣室、軽運動室、調理室、音楽室等
鳥海高原子供の国パークゴルフ場	矢島町城内字花立地内 花立子どもの国管理棟 ☎55-2044	平成 4年 3月		面積1,698㎡、全18ホール
鳥海高原矢島スキー場	矢島町荒沢字長保田 ☎56-2182	昭和 59年 9月		ゲレンデ534,947㎡、4人乗クワッドリフト、総延長2,329m、最長コース1,300m、ナイターコース1,100m、無料休憩所、レストラン
サンスポーツランド 岩城野球場	岩城内道川字新鶴潟3-11 ☎73-3664 (岩城総合体育館)	平成 6年 3月	12,900	RC造 2階建864㎡、球場面積13,800㎡、両翼100m、中堅120m
新鶴潟公園 テニスコート	岩城内道川字新鶴潟11-4 ☎73-3664 (岩城総合体育館)	平成 3年 6月	30,000	面積2,909㎡、人工芝コート 4面
岩城総合体育館	岩城内道川字新鶴潟50 ☎73-3664	平成 3年 7月	720,000	鉄骨一部RC造 2階建3,293.43㎡、フロア面積1,360㎡ (40m×34m)、バスケットボール 2面、バレーボール 2面、バドミントン 6面
岩城多目的 グラウンド	岩城亀田亀田町字亀田町45 ☎73-3664 (岩城総合体育館)	昭和59年	76,000	面積13,600㎡
新鶴潟公園 パークゴルフ場	岩城内道川字新鶴潟2-3 ☎73-3664 (岩城総合体育館)	平成 9年 3月	170,000	面積17,800㎡、芝生 4コース36ホール
パーク岩城	岩城亀田大町字地藏坂57-1 ☎73-3664 (岩城総合体育館)	平成 5年 3月	12,584	面積1,180.06㎡、屋内ゲートボール場 (2面)

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	建設経費 (千円)	施設の概要
岩城ゲートボール場	岩城内道川字馬道 25-1 (担当課) 岩城産業建設課 ☎73-2014	昭和 61年 9月	285,619	木造平屋建422㎡、屋内ゲートボール場(1面)
高城体育館	岩城亀田亀田町字亀 田町18-2 ☎73-3664 (岩城総合体育館)	平成 10年		鉄骨造979㎡、バスケットボール2面、バレーボール2面
由利運動公園 「サンライフ スポーツプラザ」	前郷字根堀台134 (担当課) 由利産業建設課 ☎44-8644	平成 2年 8月	350,112	面積44,986㎡、ソフトボール場1面(両翼69m)、サッカー場1面、ゲートボール場(屋外2面、屋内2面)、チビッコ広場1面、ハイキングロード(各施設周囲)、テニスコートは現在使用不可、管理棟1棟、駐車場260台
由利体育館	前郷字御伊勢下1 (担当課) 由利産業建設課 ☎44-8644	昭和 50年 3月	147,075	鉄骨一部2階建1,550.00㎡、体育室932.88㎡(33.8m×27.6m)、バレーボール2面、テニス1面、ステージ、控室、更衣室
由利武道館	前郷字家岸上堤83 (担当課) 由利産業建設課 ☎44-8644	平成 2年10月	124,351	鉄骨平屋建813.54㎡、剣道場1面(小コート2面)、柔道場1面(専用畳98畳)、事務室、会議室、更衣室
由利緑地公園	黒沢字山本68 (担当課) 由利産業建設課 ☎44-8644	平成 5年 3月	448,000	面積66,770㎡、多目的グラウンド、チビッコ広場、管理棟(木造平屋建、器具室)、駐車場200台
由利B&G 海洋センター	前郷字御伊勢下39-2 ☎53-3166	平成 5年 6月	540,000	鉄筋コンクリート一部2階建2,672㎡(内プール833㎡)、体育館(アリーナ)、第2体育館(トレーニングルーム)、床面積1,144㎡、男女各温水シャワー付更衣室、駐車場160台
ぽぽろ運動公園 総合体育館	岩谷町字西越62 ☎62-0500	平成 17年 8月	1,471,237	床面積5,864.32㎡、各種公式戦開催条件対応施設、(バレーボール2面・バスケットボール2面)、メインアリーナ、サブアリーナ、ミーティングルーム、トレーニングルーム、会議室
松本体育館	松本字小及位野78 ☎62-0500 (ぽぽろ運動公園総合体育館)	昭和 57年 3月	134,826	アリーナ22m×33m=726㎡、ミニバスケットボール1面(ミニバスケットボール対応)、バレーボール2面、卓球、フットサル
どまらんど大内	葛岡字葛岡92 ☎62-0500 (ぽぽろ運動公園総合体育館)	平成 8年	206,721	面積1,916㎡、ゲートボール4面(グラウンドゴルフ兼用)、(冬期間)野球・ソフトボール練習可 ※使用内容に制限あり
大内農村広場	中館字堤台76-4 ☎62-0500 (ぽぽろ運動公園総合体育館)	昭和 60年	16,800	面積15,910㎡、グラウンド174m×91m(サッカー・野球)、駐車場200台

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	建設経費 (千円)	施設の概要
大内弓道場	中館字堤台76-3 ☎62-0500 (ぼぼろ運動公園総合体育館)	昭和 62年	6,000	面積111㎡、近的6人立ち
大内テニスコート	中館字堤台76-3 ☎62-0500 (ぼぼろ運動公園総合体育館)	昭和 62年	65,950	面積3,539㎡、全天候透水型コート4面、照明施設10基
岩谷体育館	岩谷町字日渡100 (担当課) 大内産業建設課 ☎65-2809	昭和 45年	37,135	アリーナ21.0×31.5=661.5㎡(バスケットボール1面、バレーボール2面)
小栗山体育館	小栗山字小栗山76-1 (担当課) 大内産業建設課 ☎65-2809	昭和 57年 3月	147,395	アリーナ22m×33m=726㎡、バスケットボール1面、バレーボール2面)、サロン、休憩室(和室)
葛岡広場	葛岡字葛岡90 (担当課) 大内産業建設課 ☎65-2809	平成 10年		グラウンドゴルフ面積14,200㎡16ホール、多目的広場
大内山村広場	小栗山字森ノ腰53 (担当課) 大内産業建設課 ☎65-2809	昭和 58年	59,266	面積9,726㎡、両翼90m、中堅115m、本塁後方18.3m、外野フェンスH2.5m、駐車場48台
長坂スキー場	長坂字大霜38-3 (担当課) 大内産業建設課 ☎65-2809	昭和 62年	7,000	Tバーリフト250m、照明施設10基、駐車場15台、レストハウス
大内B & G 海洋センター	中館字堤台2 ☎65-3583	昭和 60年	136,000	25m×13m、幼児プール6m×10m(6～9月使用)、艇庫、OPヨット7艘、カヌー10艘、12Fヨット4艘、ローボート6艘、ダブルスカル1艘、330セールボード4艘
東由利野球場	東由利老方字台山4 (担当課) 東由利産業建設課 ☎69-2116	平成 2年 6月	272,242	面積19,922㎡、両翼91m、中堅114m、管理棟(RC造)、ダッグアウト、内野スタンド、スコアボード(磁気反転式)、バックスクリーン
東由利運動場	東由利老方字台山25 (担当課) 東由利産業建設課 ☎69-2116	昭和 51年改修	59,245	面積16,068㎡、多目的クレイグラウンド、野球場1面、200mコース1面
屋内運動広場 「げんき館」	東由利館合字代山83 (担当課) 東由利産業建設課 ☎69-2116	平成 5年 6月	247,037	鉄骨造1,258㎡、人工芝コート(ゲートボール2面、テニス1面)、休憩室、事務室、器具庫
東由利プール	東由利老方字台山50 (担当課) 東由利産業建設課 ☎69-2116	平成 11年 6月	226,345	鉄骨造、可動式上屋付936㎡、25m(6コース、内1コースは幼児用プールのスペース設置)談話室、シャワー室、ロッカー室、管理人室

施設の名称	設置場所	設置・建設 年月	建設経費 (千円)	施設の概要
東由利健康増進 センター	東由利老方字台山43 (担当課) 東由利産業建設課 ☎69-2116	昭和 61年12月	219,490	鉄骨一部2階建1,243㎡、アリーナ736㎡、 バスケットボール1面、バレーボール2 面、バドミントン3面、卓球場(ステー ジ)、休憩室、管理人室、トレーニングル ーム、ミーティングルーム
八塩いこいの森 パークゴルフ場	東由利田代字深山 地内 ☎69-2332	平成 15年12月	89,878	総延長約2,600m、6コース54ホール
大平スキー場	東由利宿字湯ノ沢80 (担当課) 東由利産業建設課 ☎69-2116	昭和 56年12月	152,719	ゲレンデ 約100,000㎡、ヒュッテ1棟 (298㎡、Tバーリフト3基、照明施設15基)
西目カントリー パークサッカー場	西目町出戸字浜山6- 1 ☎33-4440	平成 15年1月	598,123	サッカー場1面(人工芝)105m×68m、駐 車場7,396㎡(261台収容、うち大型バス8 台)、メインスタンド1,689.90㎡(倉庫165.48㎡、 選手控室156.00㎡、会議室46.00㎡、その他 1,322.42㎡、観客席1,198人、車いす専用4席)
西目カントリー パークテニスコート	西目町出戸字浜山6- 1 ☎33-4440	平成 15年1月		オムニコート2面、観客席(芝生スタンド) 3,500㎡、駐車場20台
西目カントリー パーク多目的広場	西目町出戸字浜山6- 1 ☎33-4440	平成 16年9月		4コース(32ホール)グラウンドゴル フ、芝張り、休憩所、駐車場
西目B&G 海洋センター	西目町沼田字新道下 2-682 ☎33-4128	昭和 59年6月	B&G財団 より無償 譲渡	プール25m×12.5m(6コース)、幼児10m ×6m、アリーナ30.90m×23.50m、トレー ニングルーム15.60m×29.25m
西目弓道場 「無想館」	西目町沼田字西潟 356-1 (担当課) 西目産業建設課 ☎33-4615	平成 14年11月	41,965	近的6人立ち、射場 木造瓦葺き平屋建(射 場、審判席、控室、弓具室、床面積178.87 ㎡)、的場 木造瓦葺き平屋建(安土、看的 所床面積59.62㎡)、矢道、芝張り(両面植 栽)、駐車場
鳥海球場	鳥海町上川内字西野 108 (担当課) 鳥海産業建設課 ☎57-2205	平成 12年8月	604,033	面積13,740㎡、両翼100m、中堅122m、収 容3,400人、駐車場167台、電光掲示板(LED 式、磁気反転式)
鳥海上原野球場	鳥海町下川内字上原 13-28 (担当課) 鳥海産業建設課 ☎57-2205	昭和 55年8月	56,000	面積10,513㎡、両翼90m、中堅110m、収 容500人、駐車場60台
鳥海健康広場	鳥海町伏見字折切30 (担当課) 鳥海産業建設課 ☎57-2205	平成元年	30,000 16,159	総面積10,887㎡ ソフトボール場(両翼、中堅70m)1面、テ ニス2面、野外ステージ、四阿

施設の名称	設置場所	設置・建設 年 月	建設経費 (千円)	施設の概要
箆子交流広場 「つきやま」	鳥海町上箆子字石神 15 (担当課) 鳥海産業建設課 ☎57-2205	平成 5年10月	47,050	総面積19,122㎡ 多目的広場1面、休憩棟、四阿
鳥海トレーニング センター	鳥海町伏見字折切 38-3 (担当課) 鳥海産業建設課 ☎57-2205	昭和 57年 6月	224,306	鉄骨造1,490㎡、アリーナ1,044.68㎡、ト レーニングルーム、ステージ、管理室、事 務室、放送室
鳥海射撃場	鳥海町上川内字提鍋 沢30-1 (担当課) 鳥海産業建設課 ☎57-2205	昭和 57年 8月		トラップ及びスキート射撃、ラビット射 撃、ライフル射撃

3. 第2次由利本荘市スポーツ振興計画の策定について（報告）

令和8年3月17日

由利本荘市長 湊 貴 信 様

第2次由利本荘市スポーツ振興計画策定委員会
委員長 伊 藤 弥市郎
(公印省略)

第2次由利本荘市スポーツ振興計画の策定について（報告）

標記の件について、当策定委員会で慎重に審議を重ねた結果、別添内容のとおり結論を得ましたので、ご報告申し上げます。

なお、計画の推進にあたっては、関係機関等と十分な連携を図られるよう望みます。

4. 第2次由利本荘市スポーツ振興計画策定委員会名簿

No.	所属団体・役職	氏名	備考
1	一般財団法人由利本荘市スポーツ協会会長	伊藤 弥市郎	競技スポーツ
2	由利本荘市スポーツ推進委員会委員長	高木 健	生涯スポーツ
3	由利本荘市スポーツ少年団本部長	大滝 朗	スポーツ少年団
4	尾崎スポーツクラブ会長	佐藤 俊文	生涯スポーツ
5	S P O R T S ・ P O P O R O 副会長	小助川 忠博	生涯スポーツ
6	本荘由利中学校体育連盟会長	菊地 一弘	中体連
7	由利本荘市校長会会長	佐藤 広樹	学校体育
8	由利本荘市観光協会会長	猪股 春夫	スポーツツーリズム
9	由利本荘市商工会会長	佐藤 久美	スポーツツーリズム
10	社会福祉法人由利本荘市社会福祉協議会会長	三浦 徳久	障がい者スポーツ
11	いきいきインターバル速歩推進協会会長	熊坂 文子	生涯スポーツ
12	ミズノ（株）スポーツ施設サービス運営部ナイスアリーナ総括責任者	伊東 千春	指定管理者
13	（株）サンアメニティ由利本荘営業所長	金澤 直樹	指定管理者

5. 第2次由利本荘市スポーツ振興計画策定の経過

令和7年	
6月25日	第1回策定委員会・検討部会 (設置要綱承認・委員長、副委員長選任・策定方針について協議)
8月27日	第2回策定委員会・検討部会(ワークショップ) (スポーツに関する現状整理・現状に対する改善策や必要な取り組み)
9月22日	スポーツ振興計画を策定するための市民アンケート配信
10月22日	アンケート回収 (アンケート集計) 素案作成
令和8年	
1月27日	振興計画策定委員へ素案送付
2月12日	第3回策定委員会・検討部会(素案協議) 修正案作成
2月26日	教育委員会の意見聴取(修正案提示)
3月10日	議会産業建設常任委員会(修正案提示) (全議員へ配布) 最終案作成
3月17日	第4回策定委員会(最終案協議・決定)
4月	次期計画スタート

編集・発行	秋田県由利本荘市観光文化スポーツ部スポーツ振興課
住 所	〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17
電 話	0184-74-8038
F A X	0184-23-1322
メ ー ル	sports@city.yurihonjo.lg.jp